ONKYO®

CD レシーバー

CR-D2LTD

取扱説明書

はじめに 2

接続 14

再生 23

ラジオを聞く 26

ディスクの再生 33

時計とタイマー 45

その他 52

すべての内容を
お買い上げ時の設定に
戻すには 52

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、
正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証
書、オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内とと
もに大切に保管してください。

目次

基本編

はじめに

目次 2
主な特長 3
箱の中身を確かめる 4
安全上のご注意 5
各部の名前と主な働き 8
　前面パネル 8
　表示部 9
　後面パネル 10
　リモコン(アンプ、チューナー、CD) 11
　リモコン(その他) 12
リモコンを準備する 13

接続

接続する 14
　スピーカーを接続する 14
　ラジオのアンテナを接続する 15
電源コードを接続する 22

こんなこともできます

再生

基本の操作を理解する 23
　電源を入れる 23
　入力を切り換える 23
　音量を調節する 23
　ヘッドホンで聞くときは 23
接続した機器の表示名称を変える 24

こんなこともできます

ラジオを聞く

FM放送を聞く 26
　周波数を合わせて聞く 26
　放送局を自動で登録する
　　－オートプリセット 27
　放送局を１局ずつ登録する
　　－プリセットライト 28
　登録した放送局を聞く 29
　登録した放送局を編集する 30
　登録した放送局に名前をつける 31

ディスクの再生

CDやMP3 CDを再生する 33
　ディスクについての予備知識 33
　ディスクの取り扱いについて 35
　本体で操作する 36
　リモコンで操作する 37
　MP3 CDでファイルを選ぶ 38

応用編

外部機器を接続する 16
　音声ケーブルと端子の種類について 16
　サブウーファーを接続する 16
　MDレコーダーを接続する 17
　カセットテープデッキを接続する 18
　リモートインタラクティブドック
　(RIドック)を接続する 18
　CDレコーダーを接続する 19
　デジタル機器のPCM音声をCR-D2LTDで
　　聞く接続をする 20
　テレビの音をCR-D2LTDで聞く
　　接続をする 21
　ポータブルオーディオ機器を接続する 21

音質を調整する 25
　低音と高音を調整する 25
　低音を強調する 25
　ダイレクト機能を使う 25
　音を一時的に小さくする 25

時計とタイマー

曜日と現在時刻を設定する 45
　曜日、時刻を表示させる 45
タイマー機能を使う 46
　Sleep(スリープ)タイマーを使う 47
　タイマーを予約する 48

その他

困ったときは 52
主な仕様 54
修理について 55

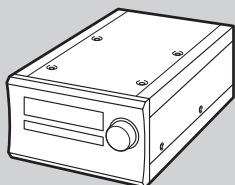
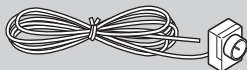
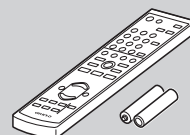
すべての内容を
お買い上げ時の設定に戻すには 52

主な特長

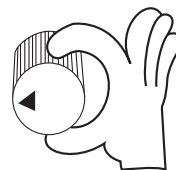
■アルミサイドパネル、1.2mm厚の天カバー、フラット化および二重構造にした底面部など、剛性と振動対策を徹底したシャーシを採用
■音質面でのカラーレーションを最小限に抑えた音質用コンデンサーを採用
■CDトレイには、ディスクに優しいゴムコーティングを採用
■金メッキフロント端子、金メッキスピーカー端子装備
■デジタル変換エラーのない超高精度なVL Digital技術を搭載
■VLSC*搭載（CDおよびデジタル入力音声信号に対応）
■高品位Wolfson社製192kHz/24bit D/Aコンバーター搭載
■リニアPCM、MP3によるCD-R/RWの再生にも対応
■40局プリセットFMチューナー
■オーディオクオリティの大容量コンデンサー、銅バスプレートなど厳選されたパーツ群
■光デジタル端子入力1/出力1、アナログ端子入力3/出力2、サブウーファープリアウト端子1装備
■フロントパネルに3.5mmステレオミニ端子入力1/出力1装備
■DS-A1XPとの接続に対応

*VLSC（Vector（ベクター） Linear（リニア） Shaping（シェーピング） Circuitry（サーキットリィ））は、オンキヨー株式会社の登録商標です。

箱の中身を確かめる

製品本体および下記の付属品が入っているかご確認ください。

カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後のアルファベットは、製品の色を表す記号です。色は異なっても操作方法は同じです。

音のエチケット

楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、
ヘッドホンをご使用になるのもひとつの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

安全上のご注意
安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

電気製品は、誤った使いかたをすると大変危険です。
あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」を必ずお守りください。

「警告」と「注意」の見かた
間違った使いかたをしたときに生じることが想定される危険度や損害の程度によって、「警告」と「注意」に区分して説明しています。

誤った使いかたをすると、火災・感電などにより死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容です。

誤った使いかたをすると、けがをしたり周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

絵表示の見かた
△記号は「ご注意ください」という内容を表しています。

高温注意
感電注意

⊘記号は「～してはいけない」という禁止の内容を表しています。

分解禁止
ぬれ手禁止

●記号は「必ずしてください」という強制内容を表しています。

電源プラグをコンセントから抜く
必ずする

⚠ 警告

故障したまま使用しない、異常が起きたらすぐに電源プラグを抜く
電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がする
- 本機を落としてしまった
- 本機内部に水や金属が入ってしまった

このような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理・点検を依頼してください。

カバーははずさない、分解、改造しない
分解禁止

火災・感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

接続、設置に関するご注意
■通風孔をふさがない、放熱を妨げない

禁止

本機には内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災ややけどの原因となることがあります。
- 押し入れや本箱など通気性の悪い狭い所に設置して使用しない（本機の天面、横から20cm以上、背面から10cm以上のスペースをあける）
- 逆さまや横倒しにして使用しない
- 布やテーブルクロスをかけない
- じゅうたんやふとんの上に置いて使用しない

■水蒸気や水のかかる所に置かない、本機の上に液体の入った容器を置かない

水場での使用禁止

水濡れ禁止

本機に水滴や液体が入った場合、火災・感電の原因となります。
- 風呂場など湿度の高い場所では使用しない
- 調理台や加湿器のそばには置かない
- 雨や雪などがかかるところで使用しない
- 本機の上に花びん、コップ、化粧品、ろうそくなどを置かない

電源コード・電源プラグに関するご注意
■電源コードを傷つけない

禁止

- 電源コードの上に重い物をのせたり、電源コードが本機の下敷にならないようにする
- 傷つけたり、加工したりしない
- 無理にねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具などに近づけない、加熱しない

電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■電源プラグは定期的に掃除する

必ずする

電源プラグにほこりなどがたまっていると、火災の原因となります。電源プラグを抜いて、乾いた布でほこりを取り除いてください。

⚠ 警告

使用上のご注意

■本機内部に金属、燃えやすいものなど異物を入れない

禁止

火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 本機の通風孔、CDトレイから異物を入れない

■長時間音がひずんだ状態で使わない

禁止

アンプ、スピーカーなどが発熱し、火災の原因となることがあります。

■CDトレイに手を入れない

指のけがに注意

けがの原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。

■ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない

禁止

ディスクは機器内で高速回転しますので、割れて破片が内部に落ちたり外に飛び出して、故障やけがの原因となることがあります。

■レーザー光源をのぞき込まない

禁止

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

■雷が鳴りだしたら本機、接続機器、接続コード、アンテナ、電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因となります。

電池に関するご注意

■乾電池を充電しない、加熱・分解しない、火や水の中に入れない

禁止

電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 指定以外の電池は使用しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 電池を使い切ったときや長時間リモコンを使用しないときは電池を取り出す
- コインやネックレスなどの金属物と一緒に保管しない
- 極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意し、表示通りに入れる

■電池から漏れ出た液にはさわらない

接触禁止

万一、液が目や口に入ったり皮膚に付いた場合は、すぐにきれいな水で充分洗い流し、医師にご相談ください。

⚠ 注意

接続、設置に関するご注意

■不安定な場所や振動する場所には設置しない

禁止

強度の足りないぐらついた台や振動する場所に置かないでください。
本機が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■本機の上に10kg以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。また、本機に乗ったりしないでください。

■配線コードに気をつける

注意

配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。

■屋外アンテナ工事は販売店に依頼する

必ずする

アンテナ工事には技術と経験が必要です。

電源コード・電源プラグに関するご注意

■表示された電源電圧（交流100ボルト）で使用する

必ずする

本機を使用できるのは日本国内のみです。
表示された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

■電源コードを束ねた状態で使用しない

禁止

発熱し、火災の原因となることがあります。

⚠ 注意

■電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

禁止

コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
プラグを持って抜いてください。

■長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグをコンセントから抜く

絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因となることがあります。

■電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込む

禁止

差し込みが不完全のまま使用すると、感電、発熱による火災の原因となります。
プラグが簡単に抜けてしまうようなコンセントは使用しないでください。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

■お手入れの際は電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

使用上のご注意

■通風孔の温度上昇に注意

高温注意

本機の通風孔付近は放熱のため高温になることがあります。
電源が入っているときや、電源を切った後しばらくは通風孔付近にご注意ください。

■音量に注意する

必ずする

突然大きな音が出てスピーカーやヘッドホンを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。

■長時間大きな音でヘッドホンを使用しない

禁止

聴力に悪い影響を与えることがあります。

■キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけない

禁止

磁気の影響でキャッシュカードやフロッピーディスクが使えなくなったり、データが消失することがあります。

移動時のご注意

■移動時は電源プラグや接続コードをはずす

電源プラグをコンセントから抜く

コードが傷つき火災や感電の原因となります。

■本機の上にものを乗せたまま移動しない

禁止

本機の上に他の機器を乗せたまま移動しないでください。
落下や転倒してけがの原因となります。

■機器内部の点検について

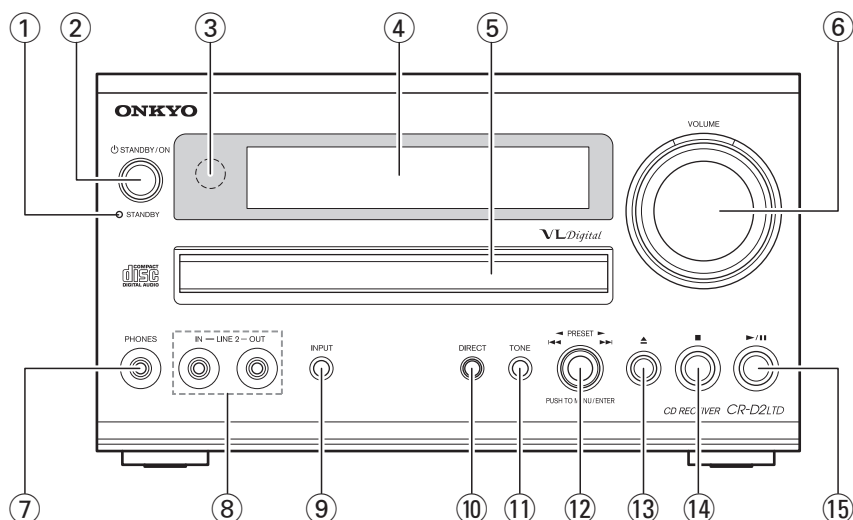
お客様のご使用状況によって、定期的に機器内部の掃除をおすすめします。
本機の内部にほこりがたまったまま使用していると火災や故障の原因となることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部清掃については、販売店にご相談ください。

■本機のお手入れについて

- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと乾いた「やわらかい」布で拭いてください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどに従ってください。
- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装が落ちたり変形することがあります。

各部の名前と主な働き

前面パネル

〔　〕内のページに主な説明があります。

① **STANDBYインジケーター**〔22、23〕
スタンバイ状態のときに点灯します。

② **STANDBY/ONボタン**〔23、45、50、52〕
電源のスタンバイ/オンを切り換えます。

③ **リモコン受光部**〔13〕
リモコンからの信号を受信します。

④ **表示部**
次ページをご覧ください。

⑤ **CDトレイ**〔36〕
CDをセットします。

⑥ **VOLUMEつまみおよびインジケーター**〔23〕
音量を調節します。本機の電源を入れると、つまみの上のインジケーターが点灯します。

⑦ **PHONES端子**〔23〕
ヘッドホンのミニプラグを接続します。

⑧ **LINE 2（IN/OUT）端子**〔21〕
メモリープレーヤーなどのポータブル機器を接続します。

⑨ **INPUTボタン**〔23、24、27、29〕
聞くソースを選びます。

⑩ **DIRECTボタン**〔25〕
ダイレクトモードで聞くときに押します。ダイレクト機能が働いているときは、ボタンのまわりのインジケーターが点灯します。

⑪ **TONEボタン**〔25〕
低音、高音を調整します。長押しをすると、S. BASS機能を設定することができます。

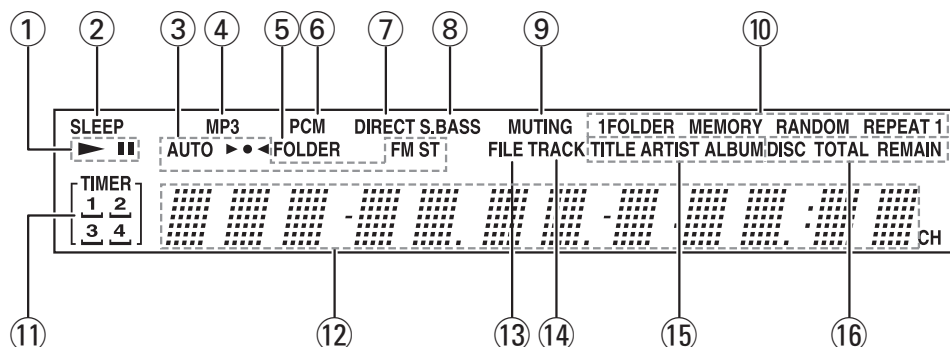
⑫ **マルチジョグダイヤル**〔29、36〕
登録した放送局やCDまたはMP3 CDの再生する曲を選びます。
編集や設定をする時、項目の選択をします。押すと各設定を確定します。

⑬ **▲ボタン**〔36〕
CDトレイを開閉します。

⑭ **■ボタン**〔36、52〕
CDの再生を停止します。

⑮ **►/❚❚ボタン**〔36〕
CDの再生を始めます。再生中に押すと一時停止状態になります。

各部の名前と主な働き

表示部

① **CD 再生表示**
CDの再生状態を表示します。

② **SLEEP表示**
スリープタイマーが働いているときに点灯します。

③ **FM受信状態情報**
FM受信時の状態を表示します。

④ **MP3表示**
MP3 CDをセットしているときに点灯します。

⑤ **FOLDER表示**
MP3 CDのフォルダ番号が表示されているときに点灯します。

⑥ **PCM表示**
デジタル入力端子から入ってきた信号がPCMのときに点灯します。
信号がPCMでない場合やunlock状態のときは点滅します。

⑦ **DIRECT表示**
ダイレクト機能が働いているときに点灯します。

⑧ **S.BASS表示**
スーパーバスが働いているときに点灯します。

⑨ **MUTING表示**
ミューティングが働いているときに点滅します。

⑩ **再生モード表示**

1 FOLDER ：1フォルダ再生時に点灯します。
MEMORY ：メモリー再生が設定されているときに点灯します。
RANDOM ：ランダム再生時に点灯します。
REPEAT ：全曲リピート再生時に点灯します。
REPEAT 1 ：1曲リピート再生時に点灯します。

⑪ **TIMER表示**
タイマーのセット状態を表示します。
TIMER：タイマーを設定したときに点灯します。
└┘：タイマー録音設定時に番号の下の枠が点灯します。
数字：タイマー 1～4設定時にその番号が点灯します。

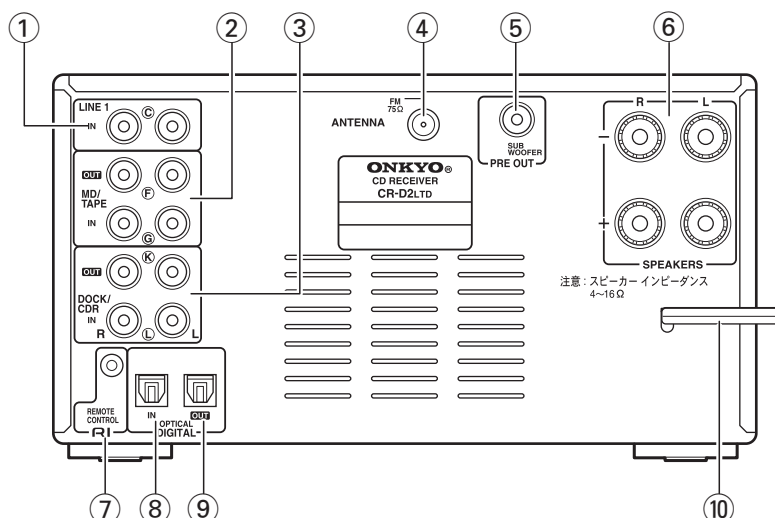
⑫ **多目的表示部**
再生時間や名前などを表示します。

⑬ **FILE表示**
MP3 CDのファイル番号が表示されているときに点灯します。

⑭ **TRACK表示**
トラック番号が表示されているときに点灯します。

⑮ **TITLE/ARTIST/ALBUM表示**
タイトル名、アーティスト名、アルバム名が表示されているときに点灯します。

⑯ **DISC/TOTAL/REMAIN表示**
ディスクや曲の総合計時間や経過時間、残り時間などが表示されているときに点灯します。

後面パネル

① LINE 1 IN端子
テレビやフォノイコライザー内蔵のレコードプレーヤーなどの外部機器の音声出力を接続する端子です。

② MD/TAPE IN/OUT端子
MDレコーダーやカセットテープデッキを接続する端子です。

③ DOCK/CDR IN/OUT端子
オンキヨー製RIドック（リモートインタラクティブドック）を接続する端子です。IN端子に接続します。
CDレコーダーや録音機器を接続することもできます。

④ ANTENNA（FM75Ω）端子
付属のFM室内アンテナ、またはFM屋外アンテナを接続する端子です。

⑤ SUBWOOFER PRE OUT端子
アンプ内蔵のサブウーファーを接続する端子です。

⑥ SPEAKERS端子
スピーカーを接続する端子です。

⑦ RI REMOTE CONTROL端子
RI端子付きのオンキヨー機器と接続し、連動させるための端子です。
RIケーブルの接続だけではシステムとして働きません。オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。

⑧ OPTICAL DIGITAL IN端子
光デジタル音声の入力端子です。
デジタル出力端子付きのゲーム機、BSチューナーなどと接続します。PCM信号に対応しています。
接続には、市販のオーディオ用光デジタルケーブルを使用します。

⑨ OPTICAL DIGITAL OUT端子
光デジタル音声の出力端子です。
CDの出力と本機のDIGITAL IN端子から入力されたPCM信号を出力します。
デジタル入力端子付きのCDレコーダーなどを接続します。PCM信号に対応しています。
接続には、市販のオーディオ用光デジタルケーブルを使用します。

⑩ 電源コード
家庭用AC100V電源コンセントに接続します。

接続については、14 〜 22 ページをご覧ください。

各部の名前と主な働き

リモコン（アンプ、チューナー、CD）

SLEEPボタン
スリープタイマーの設定に使用します。

STANDBY/ONボタン
電源のスタンバイ/オンを切り換えます。

記号、アルファベット、数字ボタン
ラジオのプリセット局に文字を入れるときに使用します。
CD操作時は、選曲したり、メモリー再生時に曲順を指定するときに使用します。

TIMERボタン
現在時刻やタイマーの設定を行います。

MENU/NO/CLEARボタン
設定や編集操作の内容を選びます。
設定中は表示された内容を取り消します。
CD操作時は、メモリー再生などで表示された内容を取り消します。

⏮/⏭（◄PRESET/PRESET►）ボタン
ラジオを聞いているときは、登録した放送局を選びます。設定時は項目を選びます。
CD操作時は、前後の曲を選ぶことができます。押すたびに前または後に曲番がスキップします。

ENTERボタン
編集や各設定で項目の確定をします。
CD操作時は、選択した内容を決定します。

◄◄/►►（◄TUN/TUN►）ボタン
文字入力時、カーソル移動をします。また、ラジオを聞いているときは、周波数の選択にも使用します。
CD操作時は、再生中の曲を早送りしたり、早戻しすることができます。

S.BASSボタン
低音を強調します。

CLOCK CALLボタン
時刻を表示させるときに押します。

INPUT ◄/► ボタン
押すごとに入力が切り換わります。

DISPLAYボタン
押すたびに表示部の情報が切り換わります。文字入力時、文字の種類を選びます。

FOLDERボタン（ 38ページ）
MP3 CDのフォルダを選びます。

REPEATボタン
くり返し再生を始めます。

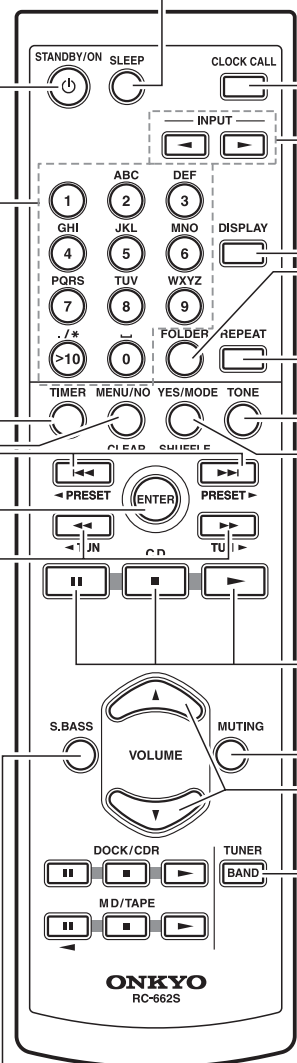
TONEボタン
低音、高音を調整します。
長押しをすると、ダイレクト機能を設定することができます。（ 25 ページ）

YES/MODE/SHUFFLEボタン
ラジオ放送受信時、チューニングモードのオート/マニュアルを切り換えます。
CD操作時は、メモリー再生やランダム再生を設定します。

CD操作ボタン
❚❚：再生を一時停止します。
■：再生を停止します。
►：再生を始めます。

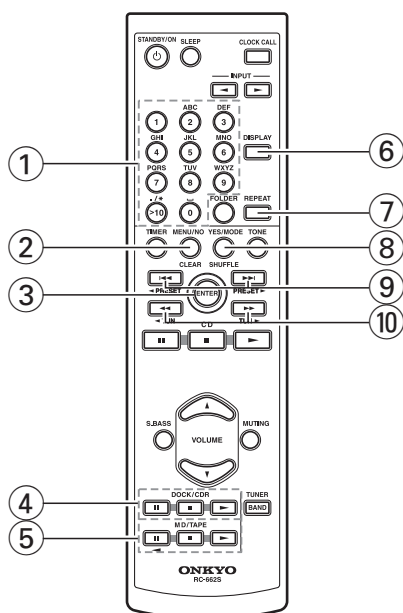
MUTINGボタン
音を一時的に小さくします。

VOLUME▲/▼ボタン
音量を調節します。

TUNER（BAND）ボタン
入力をチューナーに切り換えます。

各部の名前と主な働き

リモコン（その他）

ここでは、MD/TAPE端子やDOCK/CDR端子、OPTICAL DIGITAL IN端子に接続した機器が、オンキヨー製MDレコーダーやカセットテープデッキ、RIドック、CDレコーダーのときに使用できるボタンについて説明します。
- 機器の接続については、17〜20ページをご覧ください。
- また、接続した機器に合わせて、入力の表示名称を変更する必要があります。24ページをご覧ください。

RI端子接続をすると、以下の機能が使えます。
- 本機に付属のリモコンで、オンキヨー製機器も操作できます。
- オンキヨー製機器を再生すると、本機の入力が自動的に切り換わります。

例：⑧のYES/MODE/SHUFFLEボタンの場合
- MD/TAPE端子にカセットテープデッキを接続して入力名称を「TAPE」にしたときは、DOLBY NRボタンとして働きます。
- DOCK/CDR IN/OUT端子にCDレコーダーを接続して入力名称を「DOCK」にしたときは、SHUFFLEボタンとして働き、「CD-R」にしたときは、MODEボタンとして働きます。
  OPTICAL DIGITAL IN端子にCDレコーダーを接続して入力名称を「CD-R/dig」にしたときも同様です。

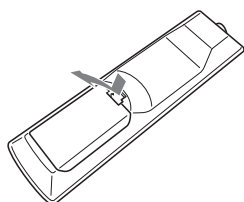
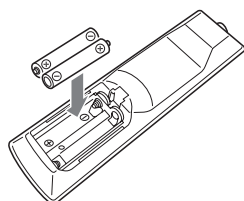
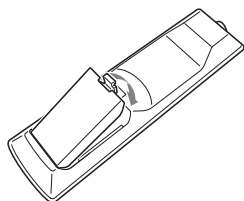
	接続端子	MD/TAPE		DOCK/CDR		DIGITAL IN
	リモコンのボタン名 ＼ 入力名称	TAPE	MD	DOCK	CD-R、PC	CD-R/dig、PC/dig
①	1〜9		1〜9		1〜9	1〜9
	0		10/0		10/0	10/0
	>10		>10		>10	>10
②	MENU/NO/CLEAR		CLEAR	MODE	CLEAR	CLEAR
③	ENTER		ENTER	SELECT	ENTER	ENTER
④	DOCK/CDR ►			►	►	►
	DOCK/CDR ■			■	■	■
	DOCK/CDR ❚❚			❚❚	❚❚	❚❚
⑤	MD/TAPE ►	►	►			
	MD/TAPE ■	■	■			
	MD/TAPE❚❚（◄）	◄	❚❚			
⑥	DISPLAY		DISPLAY	BACKLIGHT	DISPLAY	DISPLAY
⑦	REPEAT	REV MODE	REPEAT	REPEAT	REPEAT	REPEAT
⑧	YES/MODE/SHUFFLE	DOLBY NR	MODE	SHUFFLE＊	MODE	MODE
⑨	⏮/⏭	◄◄/►►	⏮/⏭	⏮/⏭	⏮/⏭	⏮/⏭
⑩	◄◄/►►		◄◄/►►	◄◄/►►	◄◄/►►	◄◄/►►

- ボタンの働きについての詳細は、各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 空欄はボタンを押しても動作しません。

＊ プレイリストやアルバムリスト表示のときは、SHUFFLE On/Offとして働きます。カーソルモードではMENUボタンとして働きます。

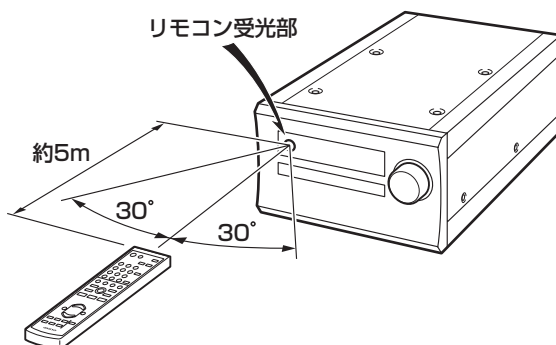
リモコンを準備する

乾電池を入れる

1. カバーを矢印の方向に持ち上げる

2. 中の極性表示にしたがって付属の乾電池 2 個をプラス ⊕ とマイナス ⊖ を間違えないように入れる

3. カバーを戻す

ご注意

- 種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出しておいてください。
- 消耗した電池を入れたままにしておきますと腐食によりリモコンをいためることがあります。リモコン操作の反応が悪くなったときは、古い電池を取り出して2本とも新しい電池と交換してください。
- 電池の交換時には、単3形をご使用ください。

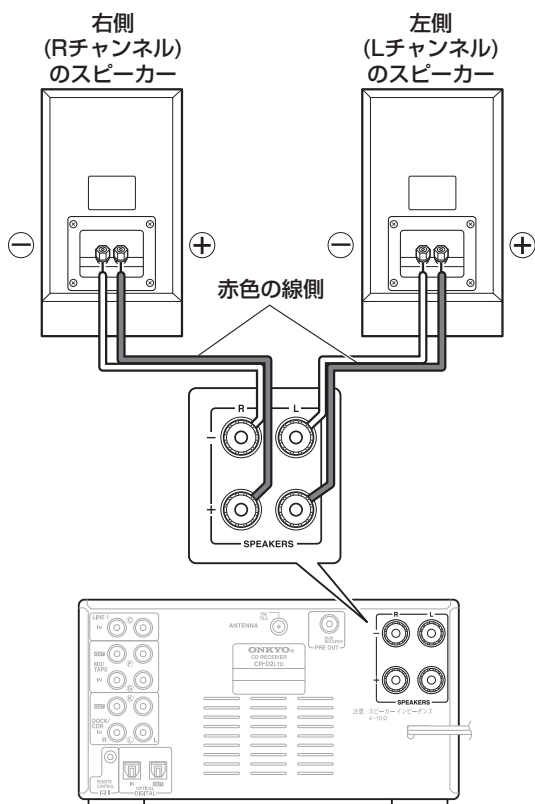
リモコンの使いかた

リモコンは本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

ご注意

- リモコン受光部に直射日光やインバーター蛍光灯などの強い光が当たらないようにしてください。リモコンが正しく動作しないことがあります。
- 赤外線を使った機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に本など、ものを置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。
- オーディオラックのドアのガラスに色が付いていると、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると、操作できません。

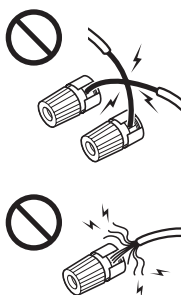
接続する

スピーカーを接続する

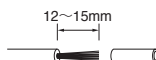
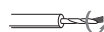
電源コードはすべての接続が終わるまでつながないでください。また、スピーカーに付属の取扱説明書もお読みください。

- スピーカーはインピーダンスが4Ω（オーム）〜16Ωのものを接続してください。4Ω未満のスピーカーを接続すると、アンプ部が故障することがあります。
- 右側に設置するスピーカーは、本機のスピーカー端子のRに、左側に設置するスピーカーはLに接続してください。

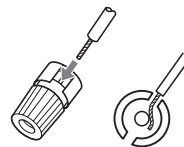
危険

回路の故障を防ぐため、スピーカーコードのしん線のプラスとマイナスを絶対に接触させないでください。
また、リアパネルにも触れないように、ご注意ください。

スピーカーコードはしっかりとよじってください。
銅線がリアパネルに触れるとショートする原因となります。

スピーカーコードの接続

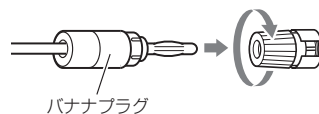
本機のスピーカー端子のプラス⊕とスピーカーのプラス⊕端子、本機のスピーカー端子のマイナス⊖とスピーカーのマイナス⊖端子を接続します。

①スピーカーコードの被覆を12〜15mmカットする

②しん線の先端をしっかりとよじる

③ねじをゆるめる

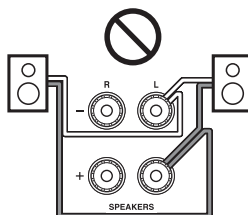
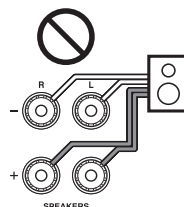
④しん線を差し込む

⑤ねじを締め付ける

バナナプラグの場合

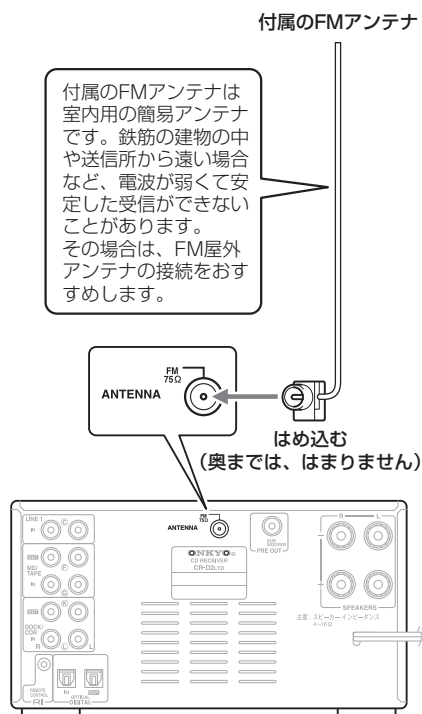
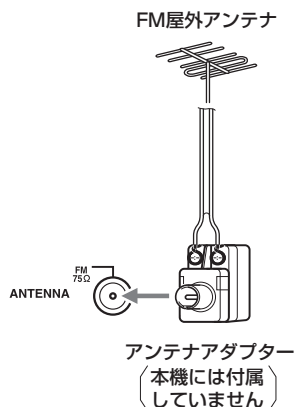
バナナプラグタイプのスピーカーコードを接続することもできます。その場合は、スピーカー端子のねじを締めてからプラグを差し込んでください。

ご注意

- プラス⊕とマイナス⊖を間違って接続したり、左右のスピーカーを間違えて接続すると音声が不自然になりますのでご注意ください。
- スピーカー端子に複数のスピーカーコードは接続しないでください。故障の原因になります。
- 1台のスピーカーを左右スピーカー端子に並列接続しないでください。

例1：

例2：

ラジオのアンテナを接続する

付属のFMアンテナを接続する

アンテナ位置の調整と固定は実際に放送を聞きながら行います。（☞26 ページ）

FM屋外アンテナを接続する

FM屋外アンテナについて

市販のアンテナアダプターを使用して、上図のように接続します。

ご注意

- アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
- 送電線の近くは危険ですので、絶対にアンテナを設置しないでください。

！ヒント

ケーブルテレビをご覧の方は、FMがテレビと同時に送られている場合がありますので、それを利用すれば安定したFM受信が可能です。受信方法や周波数については、ご契約のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

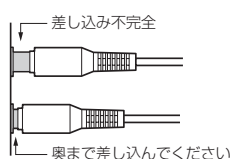
外部機器を接続する

接続の前に

- イラストはオンキヨー製品ですが、他の機器でも接続方法は同じです。接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 電源コードはすべての接続が終わるまでつながないでください。

オーディオ用ピンコードは以下のように接続してください。

- 赤いプラグ（R の表示）を右チャンネル、白いプラグ（L の表示）を左チャンネルに接続してください。

- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因になります。

- オーディオ用ピンコードは電源コードやスピーカーコードと束ねないでください。音質が悪くなることがあります。
- テレビの映像が乱れたり、本機の出力音声に雑音が入るときは、本機をテレビからできるだけ離して設置してください。

光デジタル入力端子 / 出力端子について

本機の光デジタル入出力端子は、すべてとびらタイプですので、とびらをそのまま奥へ倒すようにしてオーディオ用光デジタルケーブルを差し込んでください。

オーディオ用光デジタルケーブルは、まっすぐ抜き差ししてください。ななめに抜き差しすると、とびらが破損する場合があります。

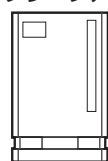
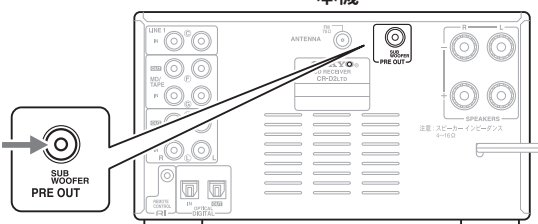
設置の際は、本機の上部に他の機器をのせないでください。
通風孔がふさがれて危険です。

音声ケーブルと端子の種類について

本機にケーブルは付属していません。

ケーブルの名称	使用するケーブル	端子の形	ケーブルや端子の役割
オーディオ用 光デジタルケーブル （OPTICAL）（オプティカル）		IN OUT OPTICAL	デジタル信号を伝送します。
オーディオ用 ピンコード		R L	アナログ音声を伝送します。
ステレオミニジャック ケーブル		IN — LINE 2 — OUT	アナログステレオ音声を伝送します。

サブウーファーを接続する

本機のサブウーファー出力はプリアウトですので、サブウーファーはアンプ内蔵のもの（アクティブサブウーファー）を接続してください。

MDレコーダーを接続する（イラストは別売りのオンキヨー製MDレコーダーとの接続例です。）

■オンキヨー製MDレコーダーとの接続

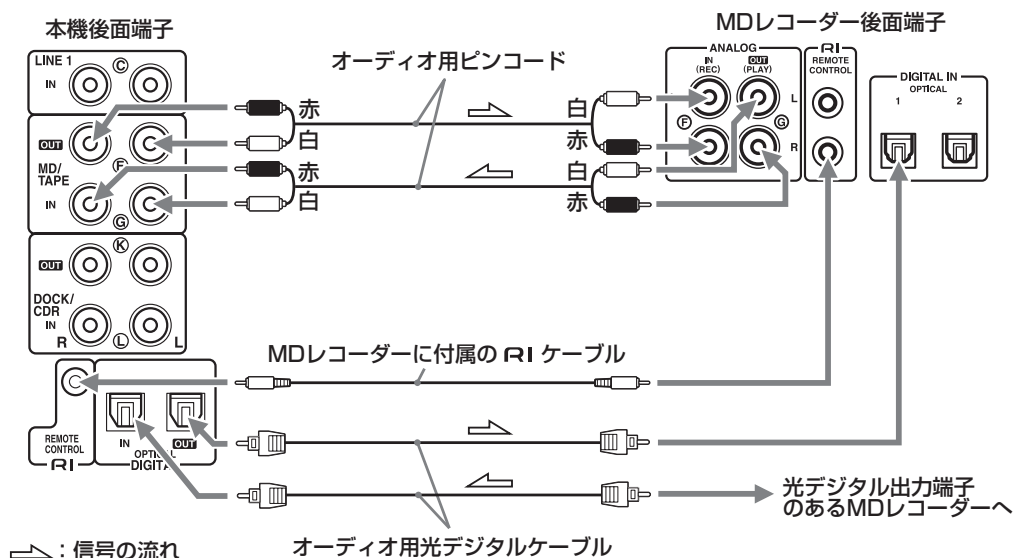
本機のMD/TAPE OUT端子Ⓕとのレコーダーの IN（REC）端子Ⓕを接続してください。

本機のMD/TAPE IN端子ⒼとMDレコーダーのOUT（PLAY）端子Ⓖを接続してください。

- 外部入力の表示名称を「MD」にする必要があります。（☞24ページ。お買い上げ時の設定は「MD」ですので、そのままお使いください。）

本機からMDレコーダーにデジタル録音するには、オーディオ用光デジタルケーブルを使って、本機のOPTICAL DIGITAL OUT端子とMDレコーダーのDIGITAL INPUT端子を接続します。

RI端子接続をすると、以下の機能が使えます。（オーディオ用ピンコードの接続も必要です。）

- 本機に付属のリモコンでオンキヨー製MDレコーダーを操作できます。
- 本機にMDレコーダーとCDレコーダーを接続する場合は、両機器間のRI端子も接続してください。
- オンキヨー製MDレコーダーの再生をすると、本機の入力が自動的にMDに切り換わります。この場合、システム録音操作ができます。（各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。）

■その他のMDレコーダーと接続する場合

本機のMD/TAPE OUT端子ⒻとMDレコーダーの音声入力端子、本機のMD/TAPE IN端子ⒼとMDレコーダーの音声出力端子をそれぞれ接続してください。

本機からMDレコーダーにデジタル録音するには、オーディオ用光デジタルケーブルを使って、本機のOPTICAL DIGITAL OUT端子とMDレコーダーのデジタル入力端子を接続します。

デジタル出力端子のあるMDレコーダーの場合は、オーディオ用光デジタルケーブルを使って本機のOPTICAL DIGITAL IN端子に接続してください。

外部機器を接続する

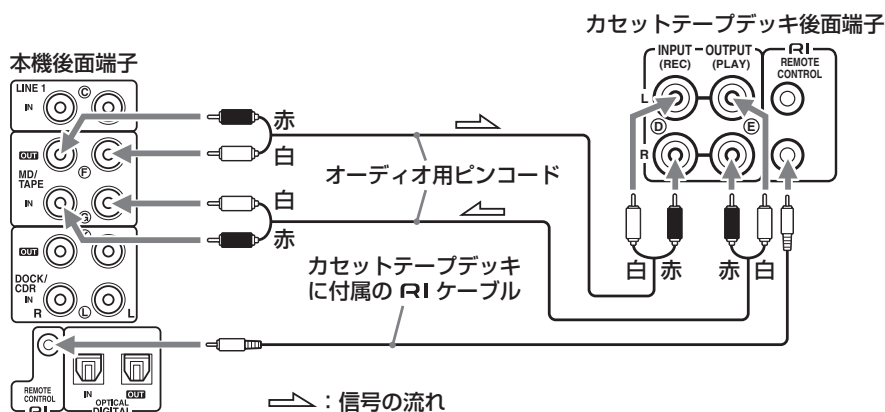
カセットテープデッキを接続する（イラストは別売りのオンキヨー製カセットテープデッキとの接続例です。）

■オンキヨー製カセットテープデッキとの接続

本機のMD/TAPE OUT端子Ⓕとカセットテープデッキの IN端子Ⓓを接続してください。
本機のMD/TAPE IN端子Ⓖとカセットテープデッキの OUT端子Ⓔを接続してください。

- 外部入力の表示名称を「TAPE」にする必要があります。（☞24ページ。お買い上げ時の設定は「MD」になっています。）

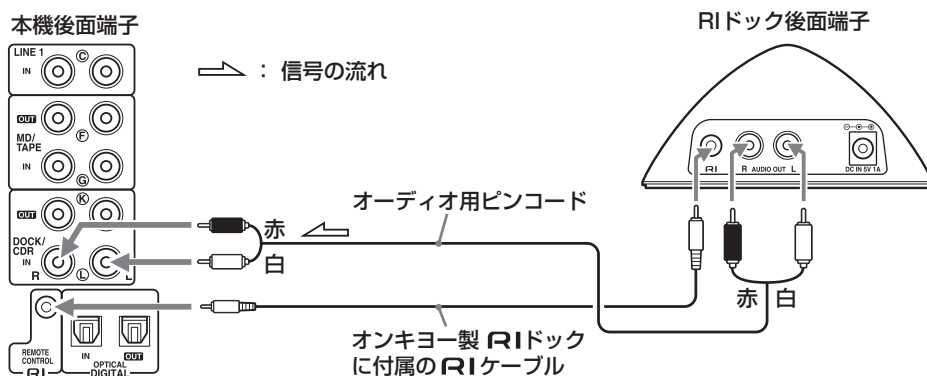
RI端子接続をすると、以下の機能が使えます。（オーディオ用ピンコードの接続も必要です。）

- 本機に付属のリモコンでオンキヨー製カセットテープデッキを操作できます。
- オンキヨー製カセットテープデッキの再生をすると、本機の入力が自動的にTAPEに切り換わります。
- システム録音操作ができます。（各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。）

■その他のカセットテープデッキと接続する場合

本機のMD/TAPE OUT端子Ⓕとカセットテープデッキの音声入力端子、本機のMD/TAPE IN端子Ⓖとカセットテープデッキの音声出力端子をそれぞれ接続してください。

リモートインタラクティブドック(RIドック)を接続する

DS-A1XPなどのオンキヨー製RIドックを本機と接続します。
本機のDOCK/CDR IN端子ⓛとRIドックの音声出力端子を接続してください。

- 外部入力の表示名称を「DOCK」にする必要があります。（☞24ページ。お買い上げ時の設定は「DOCK」になっていますので、そのままお使いください。）また、RIドックのMODEスイッチを「HDD」または「HDD/DOCK」にしてください。

RI端子接続をすると、以下の機能が使えます。

- 本機に付属のリモコンでオンキヨー製RIドックを操作できます。（オーディオ用ピンコードの接続も必要です。）
- オンキヨー製RIドックの再生をすると、本機の入力が自動的に「DOCK」に切り換わります。

CDレコーダーを接続する（イラストは別売りのオンキヨー製CDレコーダーとの接続例です。）

■オンキヨー製CDレコーダーとの接続

本機のDOCK/CDR OUT端子ⓚとCDレコーダーのIN（REC）端子ⓚを接続してください。

本機のDOCK/CDR IN端子ⓛとCDレコーダーのOUT（PLAY）端子ⓛを接続してください。

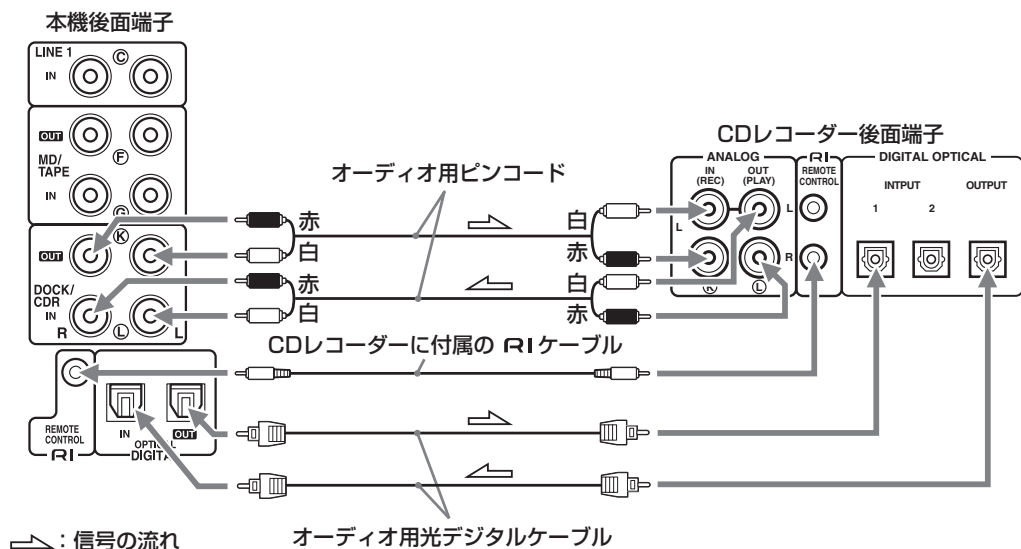
- 外部入力の表示名称を「CD-R」にする必要があります。（☞24ページ。お買い上げ時の設定は「DOCK」になっています。）

本機のOPTICAL DIGITAL IN端子とCDレコーダーのDIGITAL OUT端子を、オーディオ用光デジタルケーブルを使って接続します。

- 外部入力の表示名称を「CD-R/dig」にする必要があります。（☞24ページ。お買い上げ時の設定は「DIGITAL」になっています。）

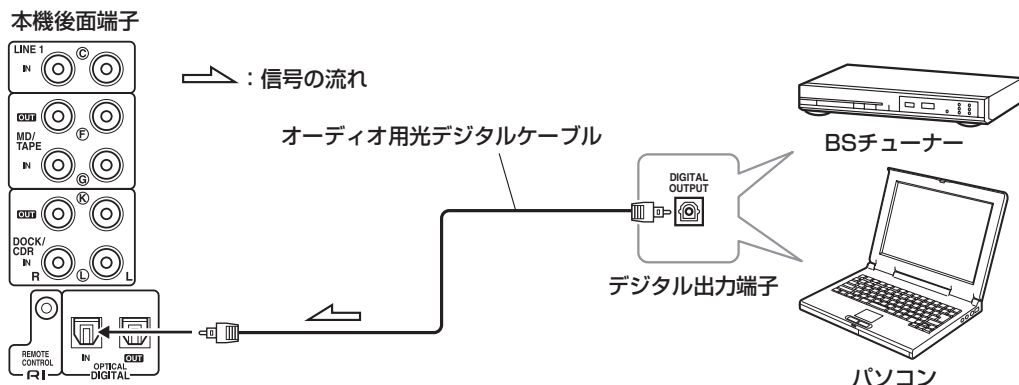
本機からCDレコーダーにデジタル録音するには、オーディオ用光デジタルケーブルを使って、本機のOPTICAL DIGITAL OUT端子とCDレコーダーのDIGITAL INPUT1端子を接続します。

RI端子接続をすると、以下の機能が使えます。（オーディオ用ピンコードの接続も必要です。）

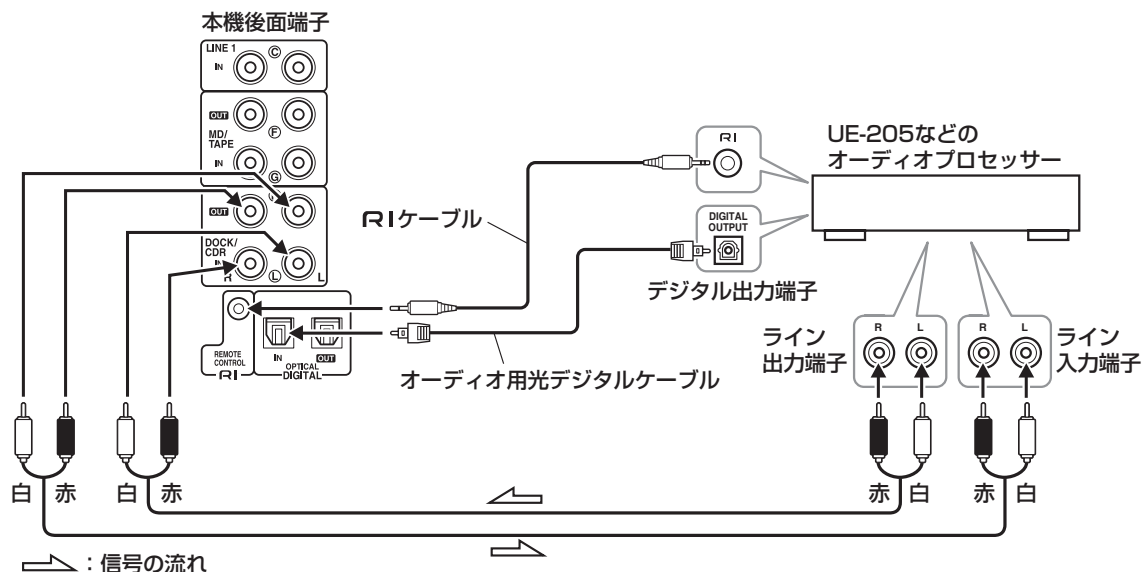
- 本機に付属のリモコンでオンキヨー製CDレコーダーを操作できます。ただし、CDレコーダーをDIGITAL端子のみで接続している場合は、リモコン操作はできません。たとえば、DOCK/CDR IN端子にRIドックを接続し、CDレコーダーをOPTICAL DIGITAL IN端子に接続している場合など、CDレコーダーはリモコン操作できません。
- 本機にCDレコーダーとカセットテープデッキを接続する場合は、両機器間のRI端子も接続してください。
- オンキヨー製CDレコーダーの再生をすると、本機の入力が自動的にCD-Rに切り換わります。
  デジタル接続している場合は、「CD-R/dig」に切り換わります。
- システム録音操作ができます。（各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。）

■その他のCDレコーダーと接続する場合

本機の DOCK/CDR OUT 端子 ⓚ と CD レコーダーの音声入力端子、本機の DOCK/CDR IN 端子 ⓛ と CD レコーダーの音声出力端子をそれぞれ接続してください。
本機から CD レコーダーにデジタル録音するには、オーディオ用光デジタルケーブルを使って、本機の OPTICAL DIGITAL OUT 端子と CD レコーダーのデジタル入力端子を接続します。

デジタル機器のPCM音声をCR-D2LTDで聞く接続をする

本機の OPTICAL DIGITAL IN 端子と BS デジタルチューナーやパソコンなどのデジタル機器のデジタル音声出力端子を接続してください。

パソコンにデジタル音声出力端子がない場合、UE-205などのオンキヨー製パソコン用オーディオプロセッサーなどを接続すると、パソコンのデジタル音声を本機でお楽しみいただけます。

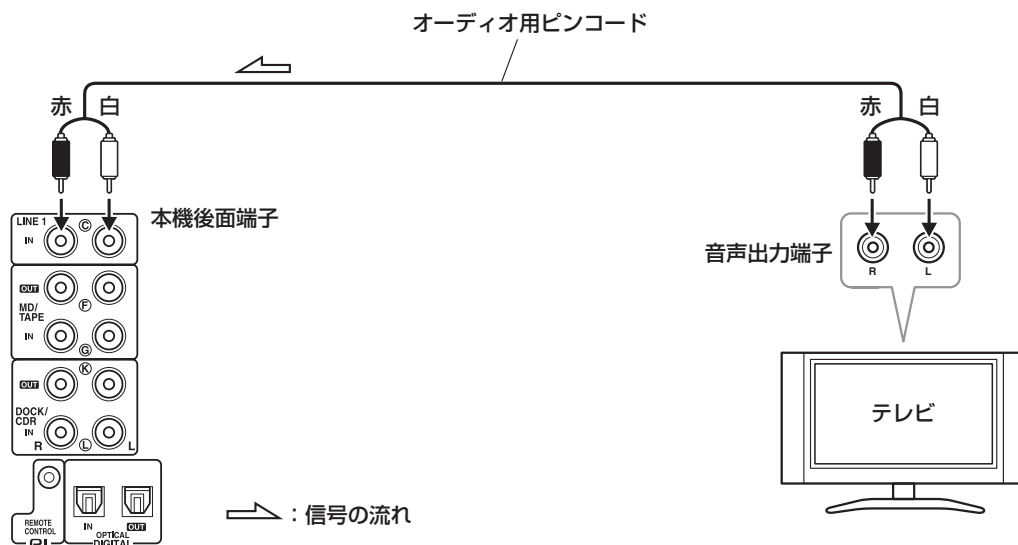
本機のOPTICAL DIGITAL IN端子とオーディオプロセッサーのデジタル音声出力端子を接続します。
- 外部入力の表示名称を「PC/dig」に変更する必要があります。（☞24ページ。お買い上げ時の設定は「DIGITAL」になっています。）

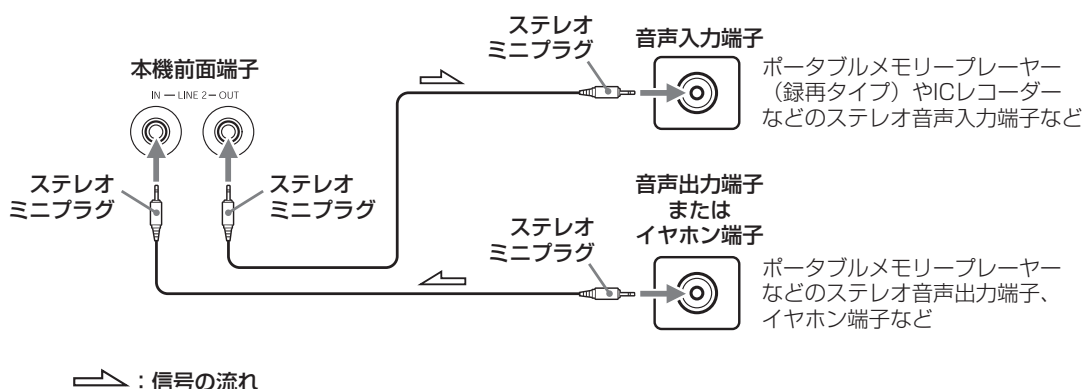
本機のDOCK/CDR IN端子Ⓛとオーディオプロセッサーのライン出力端子を接続します。本機のDOCK/CDR OUT端子Ⓚとオーディオプロセッサーのライン入力端子を接続します。
- 外部入力の表示名称を「PC」に変更する必要があります。（☞24ページ。お買い上げ時の設定は「DOCK」になっています。）

RI端子を接続すると以下の機能が使えます。（オーディオ用ピンコードの接続も必要です。）
- オンキヨー製オーディオプロセッサーに付属のリモコンで本機の一部の操作ができます。（スタンバイ / オン、入力切り換え、音量調整、ミューティング、チューナー部操作、音質調整）

ご注意
- 本機に付属のリモコンでオンキヨー製オーディオプロセッサーの操作はできません。
- オンキヨー製オーディオプロセッサーを経由してパソコン機器を再生すると、本機の入力が自動的に「PC」に切り換わります。デジタル接続している場合は、「PC/dig」に切り換わります。

外部機器を接続する

テレビの音をCR-D2LTDで聞く接続をする

本機のLINE 1 IN端子とテレビの音声出力端子を接続してください。テレビの音声を聞くときは入力をLINE 1にします。

ポータブルオーディオ機器を接続する

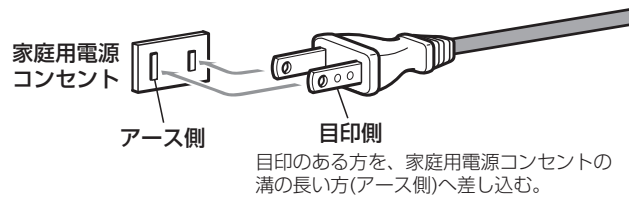
本機前面の LINE 2 IN/OUT 端子はポータブルオーディオ機器を接続するのに便利です。
LINE 2 IN 端子には、ポータブルオーディオ機器（メモリープレーヤー、MD プレーヤー、CD プレーヤーなどの再生機器）を接続します。
LINE 2 OUT 端子には、ポータブルメモリープレーヤー（録再タイプ）や IC レコーダーなどを接続し、本機で再生した音を録音することができます。
接続する機器側の端子形状によっては、使用するケーブルを別途購入する必要があります。本機の LINE 2 IN/OUT 端子は、ステレオミニプラグに対応しています。

ご注意

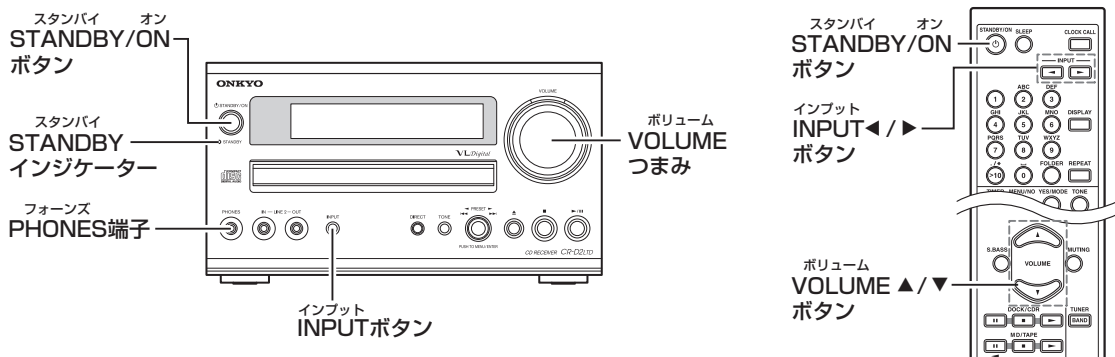
- 接続用のケーブルには、抵抗入りではないものをご使用ください。
- 本機のLINE 2 OUT端子から他機へ録音する場合、音量は一定となります。録音先の機器で録音レベルを調整してください。
- 録音後の音質は、録音元とは異なる場合があります。
- 本機のLINE 2 IN端子へ他機のイヤホン端子を接続する場合は、あらかじめ接続する機器側の音量を調整しておいてください。
- LINE 2 IN端子へ接続する場合、となりのPHONES端子へ誤って接続しないようご注意ください。間違って接続すると、PHONES端子の故障の原因となります。

電源コードを接続する

すべての接続が完了していることを確認してください。
電源コードを接続すると、本機はスタンバイ状態となり、STANDBY（スタンバイ）インジケーターが点灯します。

より良い音で聞いていただくために

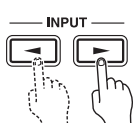
本機の電源コードは極性の管理がされています。電源プラグの目印側を家庭用電源コンセントの溝の長い方に合わせて差し込んでください。家庭用電源コンセントの溝の長さが同じ場合は、どちらを接続してもかまいません。

基本の操作を理解する

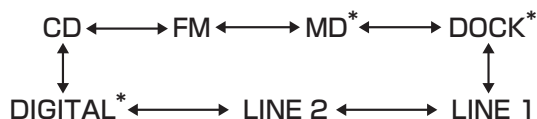
電源を入れる

本体またはリモコンのSTANDBY/ONボタンを押す

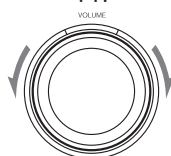
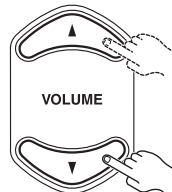
STANDBYインジケーターが消灯して電源が入ります。スタンバイ状態に戻すには、同じボタンをもう一度押します。

！ヒント

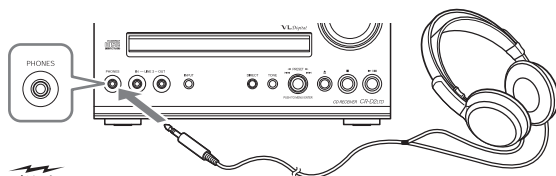
本機にRIケーブルおよびオーディオ用ピンコードで接続されているオンキヨー製RIドックやCDレコーダー、カセットテープデッキの電源を入れたり再生を始めると、本機の電源が自動的に入ります。また、本機のスタンバイとオンを切り換えると、接続されているこれらの機器の電源が入ったり、スタンバイ状態になります。

入力を切り換える

本体のINPUTボタンまたはリモコンのINPUT ◀/▶ボタンを押して切り換える

CD、FM放送、接続した外部機器から選べます。ボタンを押すごとに、入力が以下のように切り換わります。

＊表示名称を変えることができます。(☞24 ページ参照)

音量を調節する

本体のVOLUMEつまみを回すか、リモコンのVOLUME▲/▼ボタンを押す

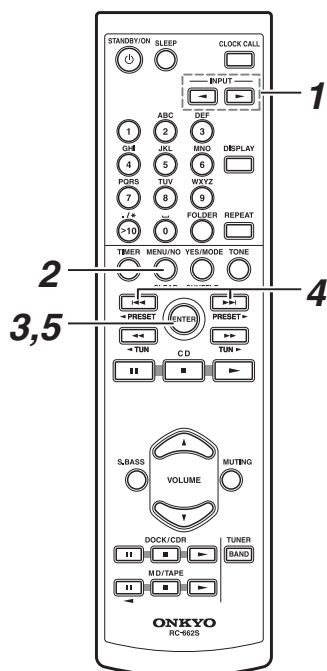
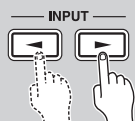
ヘッドホンで聞くときは

ヘッドホンのステレオミニプラグをPHONES端子に接続します。接続するときは、音量を下げてください。ヘッドホンを接続するとスピーカーの音は消えます。

ご注意

PHONES端子に誤って他の機器の音声出力信号を接続すると、接続した機器の故障の原因となります。となりのLINE 2 IN端子へ接続するケーブルを間違ってPHONES端子へ差し込まないよう、ご注意ください。

接続した機器の表示名称を変える

RI端子付きオンキヨー製品を接続した場合、ダイレクトチェンジなどのシステム動作を正しく行うために入力表示を切り換える必要があります。また、接続した外部機器に合わせて、入力の表示名称を変えることができます。

1

INPUT◀/▶ ボタンを押して、名称を変える

DOCK、MD、DIGITALから選べます。

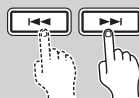
2

MENU/NO/CLEARボタンを「Name Select?」と表示されるまで押し続ける

Name Select?

3

ENTERボタンを押す

4

⏮/⏭ ボタンを押して名称を選ぶ

DIGITAL ⟺ CD-R/dig ⟺ ※PC/dig
⇕ ⇕
DOCK/dig ⟺ GAME/dig

※ USBオーディオプロセッサUE-205を接続したとき選択します。

ご注意

「DOCK」と「DOCK/dig」を同時に設定することはできません。

変更をやめるときは、MENU/NO/CLEARボタンを押します。

5

ENTER ボタンを押して決定する

「Complete」と表示された後、名称が変更されます。

Complete

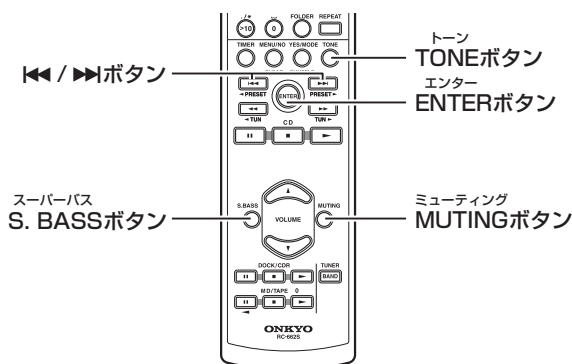
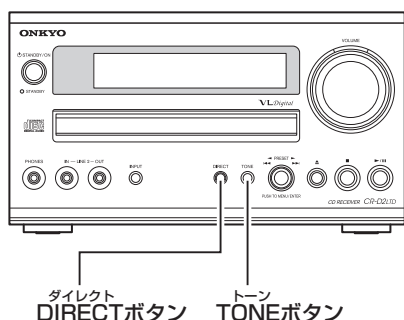
■本体で操作するときは

1. INPUTボタンで名称を変える外部入力（DOCK/MD/DIGITAL）を選ぶ
2. マルチジョグダイヤルを押すと「Name Select?」と表示されるので、もう一度ダイヤルを押す
3. マルチジョグダイヤルを回して名称を選ぶ
4. マルチジョグダイヤルを押して決定する

省略名称表示

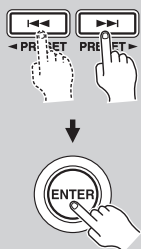
本機では入力の表示名称が省略される場合があります。そのような場合は、下表で確認してください。

名称	省略名称
CD-R、CD-R/dig	CR
DAT	DT
DIGITAL	DG
DOCK、DOCK/dig	DC
GAME、GAME/dig	GM
LINE 1	L1
LINE 2	L2
MD	MD
PC、PC/dig	PC
TAPE	TA
VIDEO	VI

音質を調整する

低音と高音を調整する

1

リモコンのTONE（トーン）ボタンを（くり返し）押して、「Bass（バス）」を表示させる

2

◀◀/▶▶ボタンを押して低音（Bass）を調整し、ENTER（エンター） ボタンを押して確定する

- ●お買い上げ時の設定は「±0」ですが、－3から＋3の間で1ステップずつ調整できます。
- ●ENTERボタンを押すと、高音（Treble（トレブル））の調整になります。

◀◀/▶▶ボタンを押して高音（Treble（トレブル））を調整し、ENTER ボタンを押して確定する

ご注意

- • 操作の間、約8秒間何もしないと元の表示に戻ります。
- • ダイレクト機能が働いているときにTONEボタンを押すと、ダイレクト機能は解除されます。

低音を強調する

リモコンのS.BASS（スーパーバス）ボタンを押す

S.BASS（スーパーバス）インジケーターが点灯します。もう一度押すと解除されます。

本体のTONE（トーン）ボタンを3秒以上押して、スーパーバス機能を働かせることもできます。

ご注意

ダイレクト機能が働いているときにS.BASSボタンを押すと、ダイレクト機能は解除されます。

ダイレクト機能を使う

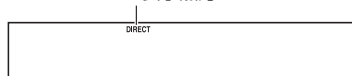
DIRECT

本体のDIRECT（ダイレクト）ボタンを押す

DIRECT（ダイレクト）表示が点灯し、ダイレクト機能が働きます。DIRECTボタンのまわりのインジケーターも点灯します。

- ●ダイレクト機能を働かせると、音質調整は働かなくなり、ピュアな音で聞くことができます。
- ●ダイレクト機能を解除するには、もう一度ボタンを押し、DIRECT表示を消します。

DIRECT表示点灯

！ヒント

リモコンのTONE（トーン）ボタンを3秒以上押して、ダイレクト機能を働かせることもできます。

音を一時的に小さくする

リモコンのMUTING（ミューティング）ボタンを押す

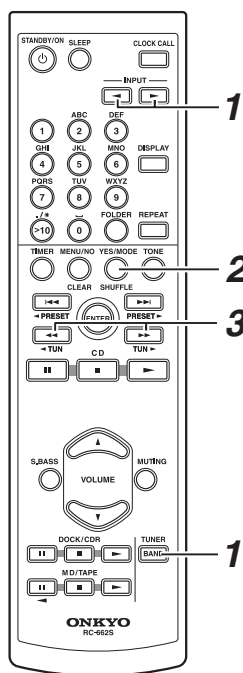
MUTING（ミューティング）表示とVOLUME（ボリューム）インジケーターが点滅し、音量がごく小さくなります。

MUTING表示点滅

もう一度押すと、解除されます。
以下のときも解除されます。

- ●音量を調整したとき
- ●一度電源を切ってから再度電源を入れたとき

FM放送を聞く

周波数を合わせて聞く

放送局を受信するとチューンド表示（▶ ● ◀）が点灯します。

FM ステレオ局を受信すると、FM ST（エフエムステレオ）表示が点灯します。

1 入力をFMにする

TUNER（チューナー）(BAND（バンド）)ボタンを押して、FMにします。

INPUT（インプット）◀/▶ボタンで「FM」を表示させることもできます。

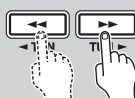
2 YES（イエス）/MODE（モード）/SHUFFLE（シャッフル）ボタンを押して、自動受信か手動受信かを選ぶ

自動的に受信（オートチューニング）したいときは

「AUTO（オート）」表示を点灯させます。
ステレオ受信になります。

AUTO表示点灯

手動で受信（マニュアルチューニング）したいときは

「AUTO」表示を消灯させます。
モノラル受信になります。

3 ◀◀/▶▶(◀TUN（チューニング）/TUN（チューニング）▶)ボタンを押して、表示部を見ながら周波数を合わせる

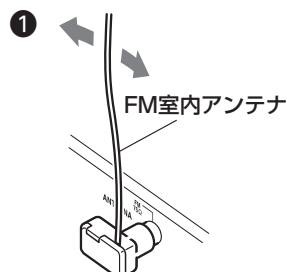
自動受信（オートチューニング）のときはボタンをしばらく押してから手を離すと自動的に周波数が上がり（下がり）、放送局を受信すると自動的に停止します。

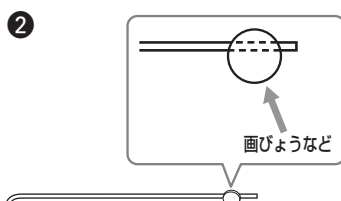
手動受信（マニュアルチューニング）のときは1回押すごとに周波数が0.1MHzずつ変わります。押し続けると周波数が連続して変化します。指を離したところで周波数が止まります。

アンテナの調整をする

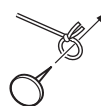
FM室内アンテナを調整して固定する

FM放送を聞きながらFMアンテナの調整をします。

❶

アンテナの方向を変えて受信状態が良好になる設置場所を見つけます。

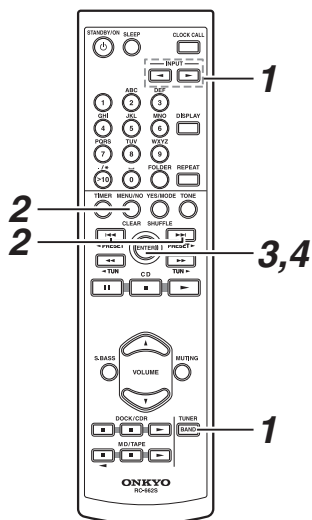
❷

画びょうなどでアンテナの先を軽くはさんで止めます。

ご注意　画びょうを使うときは、指先などにけがをしないように注意してください。

アンテナがはずれてしまう場合は、アンテナの先端を結ぶと止めやすくなります。

放送局を自動で登録する−オートプリセット−

登録すれば放送局を周波数で合わせなくても選局ができます。受信から登録まで、自動（オート）で行えます。

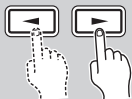
ご注意

すでに放送局を登録してある場合、オートプリセットを行うと前の登録局はすべて消え、新たに登録されます。

操作の前に

電源を入れてください。
FM の受信状態が良好になるように FM アンテナの位置を調整してください。（☞26 ページ）

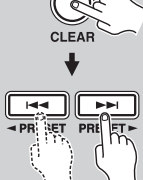
ご注意

お使いの場所によっては、放送局でないもの（ノイズ）が登録されることがあります。このようなチャンネルは削除してください。（☞30 ページ）

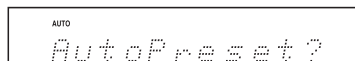
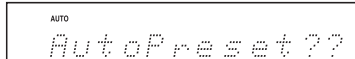
1

TUNER(BAND)ボタンを押して、「FM」を表示させる

AUTO
FM

INPUT◀/▶ ボタンで「FM」を表示させることもできます

2

MENU/NO/CLEARボタンを押した後、|◀◀/▶▶|ボタンを押して「AutoPreset?」を表示させる

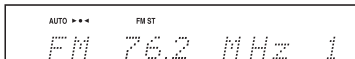
AUTO
AutoPreset?

3

ENTERボタンを押す

AUTO
AutoPreset??

再確認のため、「AutoPreset??」が表示されます。
中断するときはMENU/NO/CLEARボタンを押してください。

4

ENTERボタンを押す

AUTO FM ST
FM 76.2 MHz 1

オートプリセットが始まります。
周波数の低い順から自動的に最大40局まで登録していきます。

■本体で操作するには

1. INPUTボタンをくり返し押して「FM」を表示させる
2. マルチジョグダイヤルを押す
3. マルチジョグダイヤルを回して「Auto Preset?」を表示させ、ダイヤルを押す
4. 再度、確認のメッセージ「Auto Preset??」が表示されるので、正しければマルチジョグダイヤルを押す

！ヒント

登録したあとにこんなこともできます。

- 登録したチャンネルに放送局名など名前をつける。 ☞31ページ
- 登録したチャンネルを選んで削除する。 ☞30ページ
- 登録した放送局を別のチャンネルにコピーする。 ☞30ページ

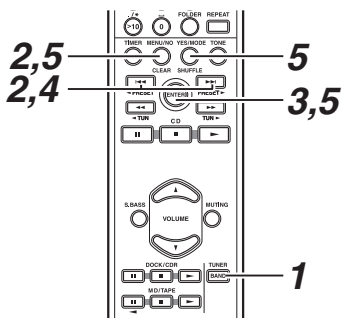
お知らせ

本機では、テレビのVHF1〜3CHの音声を受信することができます。ただし､2011年7月を過ぎますと、地上アナログ放送が終了することが国の法令によって定められているために、テレビの音声受信はできなくなります。ご了承ください。

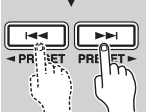
放送局を1局ずつ登録する－プリセットライト－

周波数を手動で合わせて、1局ずつ登録します。

予 備 知 識

- 40チャンネルまで登録できます。
- 1局ずつ登録する場合は、お好みのチャンネル番号に登録することが可能です。例えばFMチャンネル2、5、9のようにすることができます。

操作の前に
電源を入れてください。

1 登録したい放送局を受信する

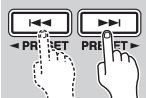
26ページを参考に、登録したい放送局を受信します。

2 MENU/NO/CLEARボタンを押した後、⏮/⏭ボタンを押して「Preset Write?」を表示させる

MENU/NO
CLEAR

PresetWrite?

3 ENTERボタンを押す

登録するチャンネルが表示されます。
中断するときはMENU/NO/CLEARボタンを押します。

4 別のチャンネルに登録するときは、⏮/⏭ボタンを押す

FM 76.2 MHz 4

5 ENTERボタンを押して決定する

「Complete」(完了)と表示されたときは

Complete

放送局が選んだチャンネルに登録されました。

「Overwrite?」(上書きしますか?)と表示されたときは

選んだチャンネル番号は登録済みです。

YES/MODE
SHUFFLE

- すでに登録されている放送局を消して新しい放送局を登録するときは、YES/MODE/SHUFFLEボタンを押します。
- 登録をやめるときは、MENU/NO/CLEARボタンを押します。

MENU/NO
CLEAR

「Memory Full」と表示されたときは

Memory Full

すでに40チャンネル登録されています。不要なチャンネルを削除してから(☞30ページ)、再度登録してください。

6 次の局を登録するときは、手順 *1～5* をくり返す

■本体で操作するには

1. INPUTボタンをくり返し押して「FM」を表示させる
2. マルチジョグダイヤルを押す
3. マルチジョグダイヤルを回して「Preset Write?」を表示させ、ダイヤルを押す
4. マルチジョグダイヤルを回してチャンネルを選び、ダイヤルを押す

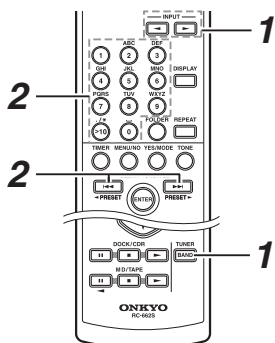
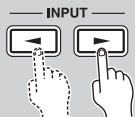
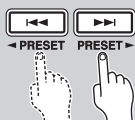
! ヒント

登録したあとにこんなこともできます。

- 登録したチャンネルに放送局名など名前をつける。 ☞31ページ
- 登録したチャンネルを選んで削除する。 ☞30ページ
- 登録した放送局を別のチャンネルにコピーする。 ☞30ページ

FM放送を聞く

登録した放送局を聞く　あらかじめ放送局を登録しておいてください。（☞27、28 ページ）

■ リモコンで操作する

操作の前に
電源を入れてください。

1

TUNER
BAND
または
INPUT

TUNER（BAND）ボタンを押して、「FM」を表示させる

INPUT◀/▶ボタンで「FM」を表示させることもできます。

2

◀PRESET　PRESET▶
または

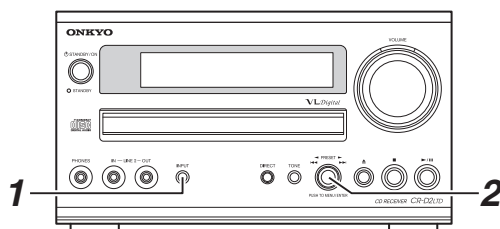
⏮/⏭（◀PRESET/PRESET▶）ボタンを押して、登録した放送局を選ぶ

⏮（◀PRESET）ボタンを押すと前のチャンネルを、⏭（PRESET▶）ボタンを押すと次のチャンネルを選べます。

！ヒント

数字ボタンで登録した放送局を選ぶこともできます。

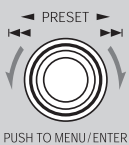
例）　登録番号	押すボタン
8	8
10	0
22	>10 2 2

■ 本体で操作する

操作の前に
電源を入れてください。

1

入力をFMにする

INPUTボタンを（くり返し）押して、FMにします。

2

マルチジョグダイヤルを回してプリセットチャンネルを選ぶ

左に回すと前のチャンネルを、右に回すと次のチャンネルを選べます。

FM放送を受信しにくいときは

電波の弱い所や雑音の多い所ではリモコンのYES/MODE/SHUFFLEボタンを押し、AUTO表示を消してモノラル受信にしてください。雑音や音切れを軽減できます。
AUTOにもどすときは、同じボタンを再度押します。
通常は、AUTOにしておいてください。自動的にFMステレオ受信となります。

AUTO（ステレオ）受信

AUTO　FM ST
FM 79.0 MHz 1 CH

モノラル受信

FM 79.0 MHz 1 CH

表示部の情報を切り換える

リモコンのDISPLAYボタンを（くり返し）押すと、情報の切り換えができます。

FM周波数 ⟷ 放送局に付けた名前

- 登録した放送局に名前がついていないときは、「No Name」が表示され、周波数表示に戻ります。
  ☞「登録した放送局に名前をつける」（☞31ページ）

登録した放送局を編集する

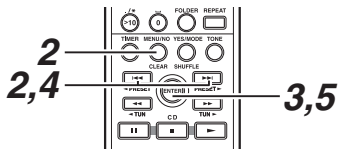
コピーと削除の2つの基本機能を使って、不要なチャンネルの削除、あるチャンネルに登録された放送局を別のチャンネルにコピー、チャンネル番号の変更などができます。

編集のヒント

チャンネル番号を変更するには

コピーと削除機能を使います。
例えば、FMで4チャンネルに登録された放送局を6チャンネル（空きチャンネル）に変えるときは、
❶ 4チャンネルを6チャンネルにコピーする。
❷ 4チャンネルを削除する。
という手順で行うことができます。

登録した放送局をコピーする

登録した放送局をコピーすると、放送局につけた名前（☞31ページ）も同時にコピーされます。

1 コピーするチャンネルを呼び出す

TUNER（BAND）ボタンを押してから、⏮/⏭（◀PRESET/PRESET▶）ボタンで選びます。

2 MENU/NO/CLEARボタンを押した後、⏮/⏭ボタンを押して「Preset Copy?」を表示させる

3 ENTER ボタンを押す

チャンネル表示が点滅を始めます。

FM 80.0 MHz 4 CH

4 ⏮/⏭ ボタンを押してコピー先のチャンネルを選ぶ

FM 80.0 MHz 6 CH

5 ENTER ボタンを押す

「Complete」（完了）と表示された後、放送局が指定のチャンネルにコピーされます。

「Overwrite?」（上書きしますか?）と表示されたときは

選んだチャンネルは登録済みです。
- すでに登録されている放送局を消して新しい放送局に上書きするときは、ENTERボタンを押します。
- 上書きをやめるときは、MENU/NO/CLEARボタンを押します。

■本体で操作するには

1. INPUTボタンでFMを選んでからマルチジョグダイヤルを回して、コピーするチャンネルを呼び出す
2. マルチジョグダイヤルを押す
3. マルチジョグダイヤルを回して「Preset Copy?」を表示させ、ダイヤルを押す
4. マルチジョグダイヤルを回してコピー先のチャンネルを選び、ダイヤルを押す

登録した放送局を削除する

1 削除するチャンネルを呼び出す

TUNER(BAND)ボタンを押してから、⏮/⏭（◀ PRESET/PRESET ▶）ボタンで選びます。

2 MENU/NO/CLEARボタンを押した後、⏮/⏭ボタンを押して「Preset Erase?」を表示させる

PresetErase?

3 ENTERボタンを押す

「Erase OK?」と再確認のメッセージが表示されます。
削除をやめるときは、MENU/NO/CLEARボタンを押します。
削除するときは、もう一度ENTERボタンを押します。
「Complete」（完了）と表示された後、登録した放送局が削除されます。

■本体で操作するには

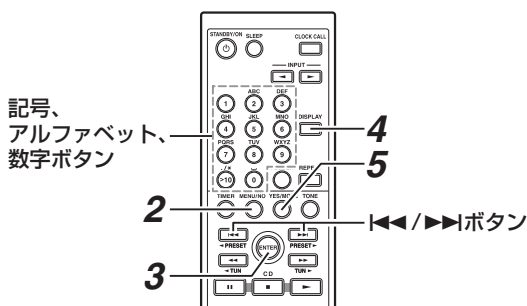
1. INPUTボタンでFMを選んでからマルチジョグダイヤルを回して、削除するチャンネルを呼び出す
2. マルチジョグダイヤルを押す
3. マルチジョグダイヤルを回して「Preset Erase?」を表示させ、ダイヤルを押す
4. 再度、確認のメッセージ「Preset Erase??」が表示されるので、正しければマルチジョグダイヤルを押す

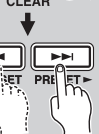
FM放送を聞く

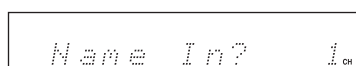
登録したチャンネルに放送局名などをアルファベットや数字、記号でつけることができます。

登録した放送局に名前をつける

- あらかじめ名前をつけたい放送局を登録しておいてください。（☞27、28ページ）
- 最大8文字までの名前がつけられます。
- 文字入力をやめるには、MENU/NO/CLEAR（メニュー/ノー/クリア）ボタンを2秒以上押し続けてください。それまでの文字入力は取り消され、元の表示に戻ります。

入力できる文字
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
_@ ‘ ＜ ＞ # $ % & ＊ ＝ ； ： ＋ − ／ （ ） ？ ！
’ ” , . ␣（空白）（挿入）

1 名前をつけるチャンネルを呼び出す

TUNER（BAND）（チューナー（バンド））ボタンを押してから、⏮/⏭（◀PRESET/PRESET▶（プリセット））ボタンで選びます。

2 MENU/NO/CLEAR（メニュー/ノー/クリア）ボタンを押した後、⏮/⏭ボタンを押して「Name In?（ネーム イン）」を表示させる

Name In?　1 CH

3 ENTER（エンター）ボタンを押す

入力モードに入ります。

4 DISPLAY（ディスプレイ）ボタンを押して、入力する文字の種類を選ぶ

ボタンを押すたびに文字の種類が切り換わります。

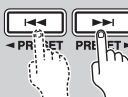
A（大文字のアルファベット）→a（小文字のアルファベット）→1（数字）→ A…

アルファベットを入力するには
数字ボタンを押すごとにボタンの上に記載されている文字が切り換わります。

たとえば、②（ABC）ボタンは押すごとにA→B→C→Aと切り換わりますので、希望の文字を表示させてENTER（エンター）ボタンを押してください。

数字を入力するには
数字ボタンを押すとその数字が入力されます。

記号を入力するには
>10ボタンは、押すごとに記載されている記号が切り換わります。
（>10ボタンは、. / * が、0ボタンはスペースが入力できます。）希望の記号を表示させてENTERボタンを押してください。

または

⏮ボタンまたは⏭ボタンを押して文字を選び、ENTERボタンを押して文字を入力することもできます。

ご注意
- 数字ボタンでは、すべての記号を入力することはできません。文字を挿入するときの「（挿入）」や、その他の記号の入力は、⏮ボタンまたは⏭ボタンを押して選んでください。
- 8文字まで入力することができます。9文字目を入力しようとすると「Full（フル）」と表示されるので、次の手順へ進んでください。

5 YES/MODE/SHUFFLE（イエス/モード/シャッフル）ボタンを押して入力を終了する

YES/MODE
SHUFFLE

「Complete（コンプリート）」（完了）と表示された後、文字入力が終了します。

■本体で操作するには

1. INPUT（インプット）ボタンでFMを選んでからマルチジョグダイヤルを回して、名前をつけたいチャンネルを選ぶ
2. マルチジョグダイヤルを押す
3. マルチジョグダイヤルを回して「Name In?（ネーム イン）」を表示させ、ダイヤルを押す
4. マルチジョグダイヤルを回して文字を選び、ダイヤルを押す
5. 手順***4*** をくり返し、8文字入力すると終了する

- 文字の種類を選ぶときは、リモコンのDISPLAY（ディスプレイ）ボタンを押してください。

文字を訂正/消去する

文字入力モードになっていないときは、「登録した放送局に名前をつける」(31ページ)の手順 ***1*** 、***2*** を行ってください。

❶ ◀◀/▶▶ボタンを押して、訂正または消去する文字を点滅させる

❷ 訂正するとき：

「登録した放送局に名前をつける」(31ページ)の手順 ***4*** にしたがって正しい文字を入力する

消去するとき：

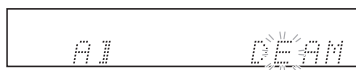
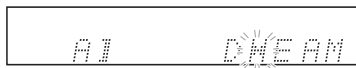
MENU/NO/CLEAR(メニュー/ノー/クリア)ボタンを押す

続けて文字を訂正/消去する場合は、上記❶❷をくり返してください。終わるときはYES/MODE/SHUFFLE(イエス/モード/シャッフル)ボタンを押してください。

MENU/NO/CLEAR(メニュー/ノー/クリア)ボタンを2秒以上押し続けると、それまでの文字編集を取り消して元の表示に戻ります。

文字を挿入する

文字入力モードになっていないときは、「登録した放送局に名前をつける」(31ページ)の手順 ***1***、***2*** を行ってください。

❶ ◀◀/▶▶ボタンを押して、文字を挿入したい場所の後ろの文字を点滅させる

❷ |◀◀ボタンを押して「M」を表示し、ENTERボタンを押す

❸「登録した放送局に名前をつける」(31ページ)の手順 *4* にしたがって挿入する文字を入力する

放送局につけた名前を消去する

❶ 入力をFMにする

❷ |◀◀/▶▶|ボタンを押して名前を消去したい放送局を選ぶ

❸ MENU/NO/CLEAR(メニュー/ノー/クリア)ボタンを押した後、|◀◀/▶▶|ボタンを押して「Name Erase?(ネーム イレーズ?)」を表示させる

❹ YES/MODE/SHUFFLEボタンを押す

「Complete(コンプリート)」と表示された後、名前が消去されます。

■本体で操作するには

1. INPUT(インプット)ボタンでFMを選んでからマルチジョグダイヤルを回して、名前を消去したい放送局を選ぶ
2. マルチジョグダイヤルを押す
3. マルチジョグダイヤルを回して「Name Erase?(ネーム イレーズ)」を表示させ、ダイヤルを押す

CDやMP3 CDを再生する

ディスクについての予備知識

再生できるディスクについて

本機は以下のディスクに対応しています。

ディスクの種類	マーク	フォーマット/ファイルタイプ
Audio CD（オーディオ）	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	PCM
CD-R	COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable	Audio CD MP3
	COMPACT disc Recordable	MP3
CD-RW	COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable	Audio CD MP3
	COMPACT disc ReWritable	MP3
CD Extra（エキストラ）		Audio CD（Session（セッション） 1） MP3（Session 2）

- ディスクレーベル面に上記のマークの入ったものを使用してください。
- 再生可能なディスク以外のディスクを読み込ませたり再生したりしないでください。「ノイズが出る」、「正常に動作しない」などの現象がおきます。

CD-R/CD-RWの再生について

- 本機は音楽CDフォーマット、MP3の音楽データが記録されたCD-R/CD-RWディスクを再生することができます。ただし、ディスクよっては「再生できない」、「ノイズが出る」または「音が歪む」などの現象が起きることがあります。
- ファイナライズしていないCD-R/CD-RWディスクを再生することはできません。
  ※詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

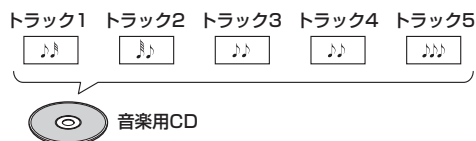
MP3の再生について

- ISO9660レベル1/レベル2のCD-ROMファイルシステム、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録したディスクを使用してください。本機が対応しているフォーマットは、Mode 1, Mode 2 XA Form 1です。
- フォルダは8階層まで対応しています。
- MPEG1/MPEG2オーディオレイヤー 3のサンプリング周波数8kHzから48kHz、ビットレート8kbpsから320kbpsで記録されたファイルに対応しています（128kbpsを推奨しています）。これ以外のファイルは再生できません。
- 固定ビットレートを推奨しますが、可変ビットレート(VBR: Variable Bit Rate) 8kbpsから320kbpsで記録されたファイルには対応しています（ただし再生できる場合でも表示部の時間表示が速くなったり、遅くなったりします）。
- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子がついたMP3ファイルのみ再生することができます。
- 1枚のディスクにつき、フォルダとファイルをあわせて499個まで認識します。ただし、フォルダは99個までです。
  これらを超えるファイルやフォルダは再生できません。また、ファイルやフォルダの構成が複雑な場合は、読み込みや再生ができないことがあります。
- ディスク名、ファイル名、フォルダ名は32文字まで認識できます。
- ひとつのファイルで表示できる再生時間は、99分59秒までです。
- 再生残り時間は、表示されません。
- ファイル名、フォルダ名（拡張子除く）は表示部に表示されます。
- エンファシスには対応していません。
- シングルセッションを推奨します。マルチセッションにも対応していますが、ディスクによっては読み込みに時間がかかったり、読み込みできなかったりすることがあります。
- CD Extraの音楽データは再生できますが、MP3データを再生できるように本機を設定することもできます。ディスクにMP3データがないときは、設定に関係なく音楽データを再生します。
- ID3タグ情報は、Version1.0/1.1、2.2/2.3/2.4に対応しています。Version2.5とそれ以上は対応していません。
  通常は、本機の「ID3VER 1」の設定にかかわらず、Version2.2/2.3/2.4を優先します。

- ID3Version2タグ情報については、ファイルの先頭の情報を認識しますので、タイトル、アーティスト名、アルバム名のみのID3 タグ情報を推奨します。圧縮されていたり、暗号化されていたり、同期していないID3タグ情報は表示されません。
- ID3タグ情報は、ファイルによっては31文字しか表示できないことがあります。

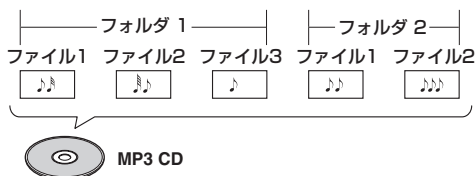
ディスクに関する用語について

■音楽用CD

- **音楽用 CD は、「トラック」で区切られています。**

トラック：音楽用 CD の内容を曲ごとに区切ったものです。

- 一般的には、1 曲が 1 つのトラックに対応しています。

■MP3 CD

フォルダ / ファイルの名前が画面に表示されます。ただし、本機は半角英数字以外の文字には対応していません。半角英数字以外で入力されたフォルダ / ファイル名は文字が変わったり、、［File_001］、［Folder_001］のように表示されることがあります。

ディスクの取り扱いについて

あなたが録音したものは、個人として楽しむほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

●複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの再生について

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの中には、正式なCD規格に合致しないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本機で再生できない場合があります。

- ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となることがあります。

ひび割れ、変形または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って機器の故障の原因となることがあります。

●レンタルCDの注意について

CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどののりがはみ出したり、剥がしたあとがあるもの、また飾り用のシールを貼ったものはお使いにならないでください。CDが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

●インクジェットプリンター対応CD-R/CD-RWについてのご注意

プリンターでラベル面への印刷が可能なCD-R/CD-RWを本機に長時間入れたままにしておきますと、ディスクが内部で貼り付き、取り出せなくなったり、故障の原因となる恐れがあります。必要なとき以外は、ディスクを入れたままにしないでケースに保管してください。
なお、印刷直後のディスクは貼り付きやすいので、使用しないでください。

●取り扱いについて

再生面（印刷されていない面）に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。

再生面はもちろんプリント面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。またきずなどをつけないようにしてください。

●お手入れについて

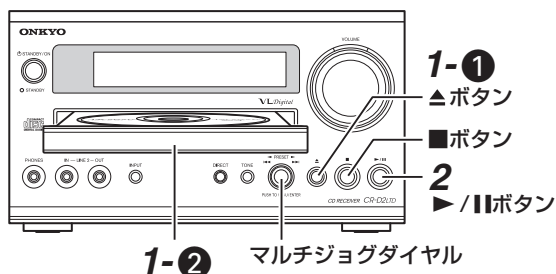
汚れにより信号が読み取りにくくなり、音質が低下する場合があります。汚れている場合は、再生面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。
汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと柔らかい布で水気を拭き取ってください。アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は表面が侵されることがありますので絶対に使用しないでください。

●保管上の注意について

直射日光のあたる場所、暖房器具の近くなど、温度が高くなるところ、極端に温度の低いところや、湿度の高いところはさけ、必ず専用ケースに入れて保管してください。

●結露について

本機を冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。そのままでは正常に働かないばかりではなく、ディスクや部品も痛めてしまいます。本機をご使用にならないときは、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。
結露しているおそれがある場合は、本機の電源を入れて約1時間放置してからご使用ください。

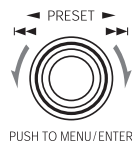
本体で操作する

操作の前に
電源を入れてください。

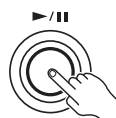
1	**CDをセットする** ❶▲（オープン/クローズ）ボタン押して、CDトレイを開く ❷CDをCDトレイに置く ● レーベル面を上にしてCDトレイの上に置きます。 8cmCDのときは、内側のくぼみの中に置きます。 **！ヒント** スタンバイ状態のときに▲（オープン/クローズ）ボタンを押すと、自動的に電源が入ります。
2	**►/❚❚（プレイ/ポーズ）ボタンを押す** CDトレイが閉まって再生が始まります。

●音楽用 CD

● MP3 CD

聞きたい曲を選ぶ

- 再生中にマルチジョグダイヤルを左に回すと現在の曲の頭に戻り、さらに回すと1つずつ前の曲に戻ります。右に回すと1つずつ次の曲に進みます。
- 停止中は左に回すと1つずつ前の曲に戻り、右に回すと1つずつ次の曲に進みます。

MP3 CDでは、他のフォルダのファイルを選ぶこともできます。

一時停止する

►/❚❚（プレイ/ポーズ）ボタンを押す

表示部に❚❚（ポーズ）表示が点灯します。もう一度押すと一時停止したところから再生が始まります。

再生を止める

■（ストップ）ボタンを押す

CDを取り出す

▲（オープン/クローズ） ボタンを押してCDトレイを開ける

CDやMP3 CDを再生する

リモコンで操作する

CDを選ぶ

数字ボタン

選曲して再生する

⓪ ボタン :10または0を選びます。

>10 ボタン : 2桁以上の曲を選びます。

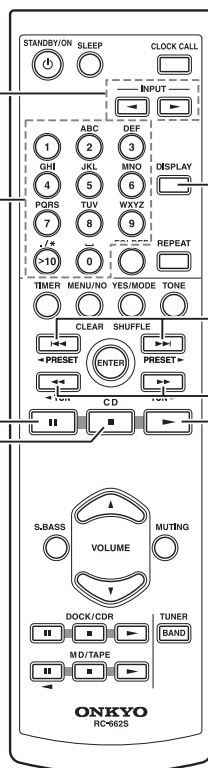
例） 曲番 押すボタン

曲番	押すボタン
8	8
10	0
34	>10、3、4

11曲目以降を再生するときは、>10 ボタンを押してから選曲します。
MP3 CD では、現在選ばれているフォルダ内のファイルを選ぶことができます。

再生を一時停止する

もう一度押すと、一時停止したところから再生が始まります。

再生を止める

表示部の情報を切り換える

DISPLAY（デスプレイ）ボタンを押します。

聞きたい曲を選ぶ

- 再生中、一時停止中に|◀◀ボタンを押すと現在の曲の頭に戻り、さらに押すと、1つずつ前の曲に戻ります。
- ▶▶|ボタンを押すと、1つずつ次の曲に進みます。
  MP3 CD では、他のフォルダのファイルを選ぶこともできます。

早戻し/早送りをする

再生中/一時停止中に押し続け、聞きたいところで指を離します。◀◀ ボタンを押し続けると早戻し、▶▶ ボタンを押し続けると早送りになります。

再生する

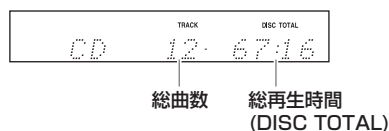
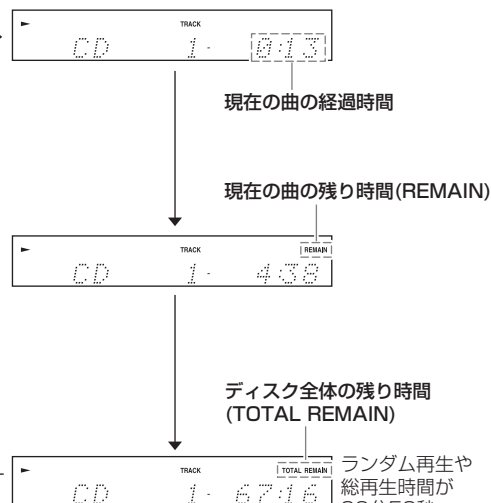
ＣＤがセットされていれば、スタンバイ状態でも自動的に電源が入り、再生が始まります。

表示部の情報を切り換える

リモコンの DISPLAY（ディスプレイ） ボタンを（くり返し）押すと、情報の切り換えができます。

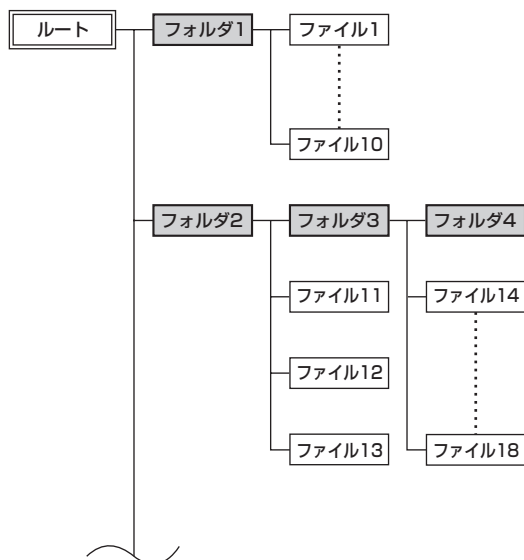
停止中

再生中、一時停止中

ランダム再生や総再生時間が99分59秒を超える場合「−− : −−」が表示されます。

！ヒント

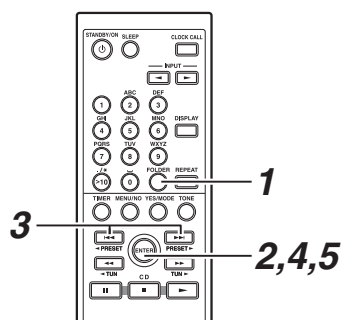
MP3 CDの場合の表示は、40ページをご覧ください。

MP3 CDでファイルを選ぶ

MP3 CD では、フォルダの中に MP3 ファイルが入っています。
フォルダの中にさらにフォルダが入っていて、その中に MP3 ファイルが入っている場合もあり、下記の例のように階層構造になっています。

再生するときにフォルダも MP3 ファイルも選ばなかったときは、上記のファイル番号順に再生します。
フォルダを選んでから再生したい MP3 ファイルを選ぶには、次の二つの方法があります。

ナビゲーションモード：フォルダの階層にしたがって順にフォルダを選択し、ファイルを選びます。

フォルダモード：すべてのフォルダが同列に扱われ、階層には関係なく、フォルダを選んでファイルを選びます。

ナビゲーションモードでMP3ファイルを選ぶ

- ランダム再生モードまたは 1 フォルダモードになっているときは、YES(イエス)/MODE(モード)/SHUFFLE(シャッフル) ボタンを押して解除してください。

1

停止中にFOLDER(フォルダ)ボタンを押す

表示部に「Root(ルート)」と表示されます。

MP3 FOLDER
[Root]

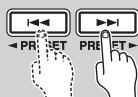
2

ENTER(エンター)ボタンを押す

「Root」の下の最初のフォルダ名が表示されます。

MP3 FOLDER
MY Best-Ball

フォルダが無いときは、ファイルの名前が表示されます。

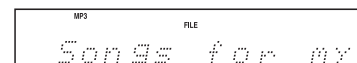
3

◀◀/▶▶ボタンを押して、同じ階層にあるフォルダやファイルを選ぶ

MP3 ファイルの入っていないフォルダは選ぶことができません。

4

フォルダやファイルを選んだら、ENTERボタンを押す

階層が何段階もある場合は、手順 ***3***、***4*** をくり返してファイルを選んでください。

MP3 FILE
Songs for my

1 つ前の階層に戻るには、MENU(メニュー)/NO(ノー)/CLEAR(クリア) ボタンを押します。

5

ENTERボタンを押す

選んだファイルの再生が始まります。

- CD▶(プレイ) ボタンを押して、再生を始めることもできます。
- フォルダ選択中に CD▶ ボタンを押すと、フォルダのはじめのファイルを再生します。

！ヒント

リモコンの ◀◀/▶▶ ボタンを使用するかわりに本体のマルチジョグダイヤルを左右に回す、また、ENTER(エンター) ボタンのかわりにマルチジョグダイヤルを押して操作することもできます。

フォルダモードでMP3ファイルを選ぶ

ランダム再生モードになっているときは、YES/MODE/SHUFFLE ボタンを押して解除してください。

1

停止中にFOLDERボタンを2秒間押し続ける

「Root」の表示が消えるまで押し続けてください。表示部に最初のフォルダ名が表示されます。

2

|◀◀/▶▶|ボタンでフォルダを選ぶ

MP3ファイルの入っているフォルダを選ぶことができます。
選んだフォルダの最初のファイルから再生したいときは手順 ***4*** へ進んでください。

3

FOLDERボタンを押して、フォルダ内のファイルを選ぶ

フォルダ内の最初のMP3ファイルの名前が表示されるので、|◀◀/▶▶|ボタンで再生したいファイルを選んでください。

他のフォルダを選びたいときは、FOLDERボタンをもう一度押すと手順 ***2*** からやり直すことができます。

4

ENTERボタンを押す

選んだファイルまたはフォルダの再生が始まります。

- CD ▶ボタンを押して再生を始めることもできます。

！ヒント

- リモコンの|◀◀/▶▶|ボタンを使用するかわりに本体のマルチジョグダイヤルを左右に回す、また、ENTERボタンのかわりにマルチジョグダイヤルを押して操作することもできます。
- 再生中に他のフォルダのMP3ファイルを選ぶには、FOLDERボタンを押して|◀◀/▶▶|ボタンで再生したいファイルを選んだあとENTERボタンを押します。次に|◀◀/▶▶|ボタンでそのフォルダの中のファイルを選んでください。

■一時停止するには

本体の▶/IIボタンまたはリモコンのCD IIボタンを押す

再び再生を始めるには、同じボタンを押します。

■ナビゲーションモードやフォルダモードを解除するには

本体の■ボタンまたはリモコンのCD■ボタンを押す

■数字ボタンでフォルダやファイルを選ぶには

フォルダモードのときに使用できます。
① 数字ボタンを押してフォルダ番号を入力します。

フォルダ番号：	数字ボタン：
8	8
10	0
34	>10 3 4

停止中の場合は、フォルダ内の最初のファイルの再生が始まります。
再生中の場合は、フォルダ名が点滅するので、ENTERボタンを押して確定します。
② 数字ボタンでファイル番号を入力します。
ファイルの再生が始まります。

フォルダに100個以上のMP3ファイルが入っている場合、次のように選曲します。

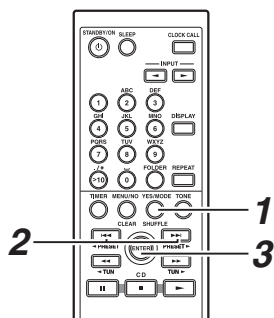
例）

5曲目 ： 5
32曲目 ： >10、0、3、2
132曲目 ： >10、1、3、2

CDやMP3 CDを再生する

1つのフォルダだけ再生する

ひとつのフォルダを指定して再生します。

1

停止中にYES/MODE/SHUFFLEボタンを（くり返し）押して「1 FOLDER」を表示させる

1FOLDER表示点灯

2

|◀◀/▶▶|ボタンでフォルダを選ぶ

MP3ファイルの入っているフォルダを選ぶことができます。

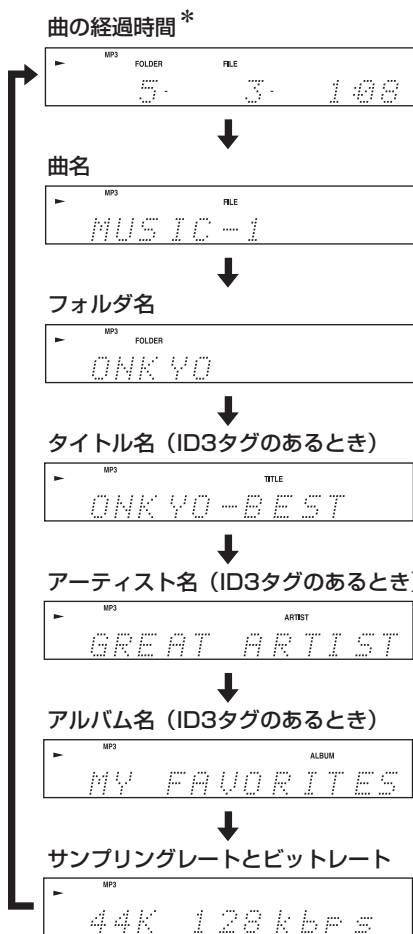
3

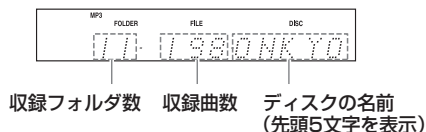
ENTERボタンを押す

選んだフォルダ内の最初の曲の再生が始まります。そのフォルダ内の最後のファイルの再生が終わると停止します。

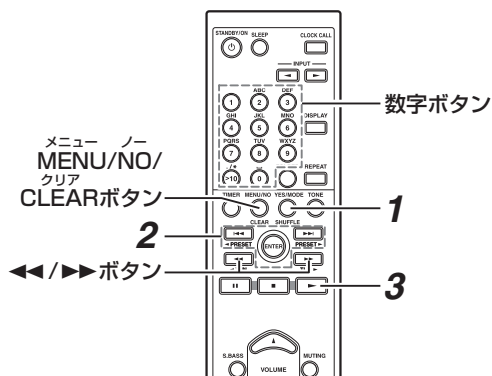
- CD ►ボタンを押して再生を始めることもできます。

MP3の表示部の情報を切り換える

MP3ディスク再生中はDISPLAYボタンを押すたびに以下のように切り換わります。

＊現在再生中のファイルが99分59秒を超える場合は、「－－：－－」が表示されます。

MP3ディスク停止中は、以下のような表示になります。DISPLAYボタンを押すと、ディスク名表示に切り換わります。

- 表示できない文字は、下線で表示します。
- 表示できない文字を含んでいるときは番号で表示するように設定することもできます。（☞43ページ）

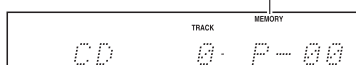
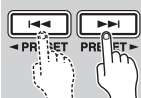
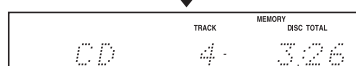
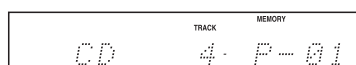
メモリー再生

曲を登録し（25曲まで）、その順序で再生します。

停止状態にしてから操作します。

1

YES/MODE/SHUFFLEボタンを（くり返し）押して、「MEMORY」を表示させる

MEMORY表示点灯

2

|◀◀/▶▶|ボタンでトラックを選び、ENTERボタンを押す

- 次の曲を選ぶときはこの手順をくり返します。
- リモコンの数字ボタンを使って操作することもできます。

また、本体のマルチジョグダイヤルを使用する場合は、マルチジョグダイヤルを回して曲を選び、押して確定します。

！ヒント

MP3 ファイルをメモリーするには

- ナビゲーションモードの場合は、同一フォルダ内のファイルのみ登録できます。
- YES/MODE/SHUFFLE ボタンでメモリーモードにしたあと、38 ページの手順 ***1*** ～ ***4*** を行って登録します。
- フォルダモードの場合は、フォルダを越えて登録できます。YES/MODE/SHUFFLE ボタンでメモリーモードにしたあと、39 ページの手順 ***1*** ～ ***4*** を行って登録します。

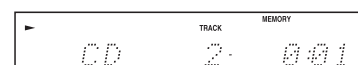
登録した曲を削除するには

MENU/NO/CLEAR ボタンを押します。押すたびに最後に登録した曲から削除されます。

ご注意

- 総再生時間が 99 分 59 秒を超える場合は、「- - : - -」と表示されます。
- 最大 25 曲まで登録できます。それを超えて登録しようとすると「Memory Full」と表示され、これ以上登録できないことを表します。

3

CD▶ ボタンを押す

再生中の曲番

メモリー再生が始まります。

- 本体の ▶/❚❚ ボタンを押して再生を始めることもできます。

登録した曲のなかで選曲する

再生中にリモコンの|◀◀/▶▶|ボタンを押すか、本体のマルチジョグダイヤルを回すと、登録した曲の中から選曲ができます。

登録した内容を確認するには

停止中にリモコンの◀◀/▶▶ボタンを押して登録内容を確認できます。

登録した曲を取り消すには

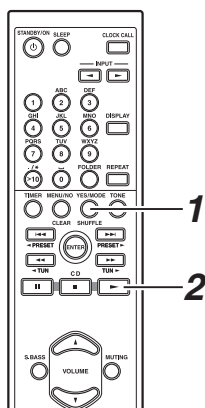
メモリー再生モードの停止中に、MENU/NO/CLEARボタンを（くり返し）押すと、最後の登録曲から取り消すことができます。

メモリー再生を解除するには

YES/MODE/SHUFFLEボタンを押して、再生モードを切り換えると、MEMORY表示は消えてメモリー再生は解除されます。

- ディスクを取り出したり、スタンバイ状態にしても解除されます。

ランダム再生

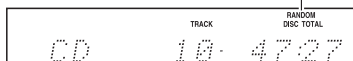
曲順をランダムに並べかえて、全曲を 1 通り再生します。

1

YES/MODE
SHUFFLE

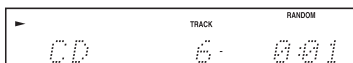
停止中にYES/MODE/SHUFFLEボタンを（くり返し）押して、「RANDOM」を表示させる

RANDOM表示点灯

RANDOM DISC TOTAL
TRACK
CD 10 47:27

2

CD► ボタンを押す

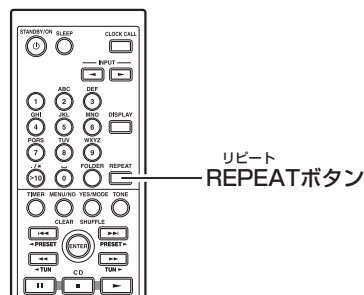
ランダム再生が始まります。

► TRACK RANDOM
CD 6 0:01

再生中の曲番

ランダム再生を解除するには

- YES/MODE/SHUFFLE ボタンを押して再生モードを切り換えると、RANDOM 表示は消えてランダム再生は解除されます。
- ディスクを取り出したり、スタンバイ状態にしても解除されます。

リピート/1 TRリピート再生

- リピート再生はCDをくり返し再生します。
- 1TRリピート再生は1曲をくり返し再生します。
- リピート再生はメモリー再生、ランダム再生や通常の再生と組み合わせて使うことができます。1TRリピート再生は通常再生のみ組み合わせて使うことができます。
- MP3 CDでは、リピート再生を1-フォルダ再生と組み合わせて使うことができます。

REPEAT

REPEATボタンを（くり返し）押して、「REPEAT」または「REPEAT 1」を表示させる

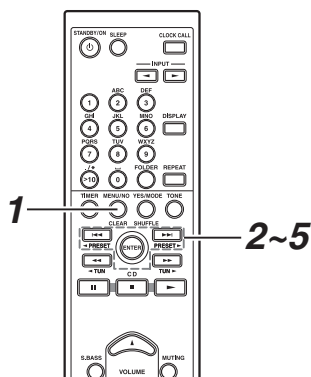
REPEATまたはREPEAT1表示点灯

REPEAT 1

リピート、1 TRリピート再生を解除するには

- REPEAT ボタンを（くり返し）押して、「REPEAT」、「REPEAT 1」のいずれも表示されていない状態にすると、リピート、1TR リピート再生は解除されます。
- ディスクを取り出したり、スタンバイ状態にしても解除されます。

MP3に関する設定をする

MP3 ファイル情報の表示方法を選択したり、MP3 CDの再生方法などを設定することができます。

停止状態にしてから操作します。

1

MENU/NO/CLEARボタンを（くり返し）押して、「Disc Name ？」を表示させる

2

|◀◀/▶▶|ボタンで変更したい項目を選ぶ

各項目についての詳細は、右の項目をご覧ください。

3

ENTERボタンを押す

4

|◀◀/▶▶|ボタンで設定したいモードを選ぶ

5

ENTERボタンを押す

「Complete」（完了）と表示された後、元の表示に戻ります。
途中で止めたいときは、MENU/NO/CLEARボタンを押してください。

各設定について

Disc Name?（ディスク名）

MP3ディスクのとき、ディスク名を表示するかどうかを設定します。お買い上げ時の設定はDisplayです。

Display：ディスク名を表示します。
Not Display：ディスク名を表示しません。（MP3と表示されます。）

File Name?（ファイル名）

MP3ディスクのとき、曲名をスクロール表示するかどうかを設定します。ただし、ナビゲーションモード時は、この設定に関わらず曲名がスクロールします。お買い上げ時の設定はScrollです。

Scroll：曲名をスクロール表示します。
Not Scroll：曲名をスクロール表示しません。

Folder Name?（フォルダ名）

MP3ディスクのとき、フォルダ名をスクロール表示するかどうかを設定します。ただし、ナビゲーションモード時は、この設定に関わらずフォルダ名がスクロールします。お買い上げ時の設定はScrollです。

Scroll：フォルダ名をスクロール表示します。
Not Scroll：フォルダ名をスクロール表示しません。

Bad Name?

曲名やフォルダ名に、表示できない文字が含まれているときの表示のさせかたを設定します。
ID3タグ情報については設定に関係なく表示できない文字を下線で表示します。お買い上げ時の設定はNot Replaceです。

Replace：「File n」や「Folder n」（nは曲番/フォルダ番号）という表示に置き換えて表示させます。
Not Replace：表示できる文字は表示し、できない文字は下線で表示します。

D3 Ver.1?

ID3 Version1.0/1.1のタグ情報の表示について設定します。お買い上げ時の設定はReadです。

Read：情報を読み込んで表示させます。
Not Read：表示させません。

ID3 Ver.2?

ID3 Version2.2/2.3/2.4のタグ情報の表示について設定します。お買い上げ時の設定はReadです。

Read：情報を読み込んで表示させます。
Not Read：表示させません。

CD-Extra?

CD-Extraディスクの再生について設定します。
お買い上げ時の設定はAudioです。

Audio：音楽データを再生します。

MP3：MP3データを再生します。

Joliet?

JOLIET形式で記録されたMP3のSVD(Supplementary Volume Descriptor)データを読み込むか、ISO9660形式として読み込むかを設定します。通常は設定を変える必要はありません。SVDは、アルファベットと数字以外に、長いファイル名/フォルダ名や文字をサポートしています。
お買い上げ時の設定はUse SVDです。

Use SVD：SVD（Supplementary Volume Descriptor）データを読み込みます。

ISO9660：ISO9660形式として読み込みます。

Hide Number?

曲名やフォルダ名の先頭に番号がついている場合、番号表示を隠すことができます。
お買い上げ時の設定はDisableです。

Disable：番号表示を隠す機能を設定しません。（番号は表示されたままです。）

Enable：番号表示を隠す機能を設定します。（番号表示は無しになります。）

下表は、Disable/Enableを選んだときにどのように表示されるかの例です。

ファイルや フォルダの名前	Disable を 選んだとき	Enable を 選んだとき
01 Pops	01 Pops	Pops
10-Rock	10-Rock	Rock
16_Jazz	16_Jazz	Jazz
21th Century	21th Century	21th Century
05-07-20 Album	05-07-20 Album	Album

Folder Key?

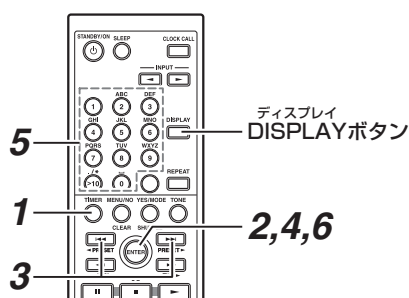
FOLDERボタンを押したときと2秒以上押したときの設定を変えます。
お買い上げ時の設定はNavigationです。

All Folder：FOLDERボタンを1回押したときはフォルダモードになり、2秒以上押したときはナビゲーションモードになります。

Navigation：FOLDERボタンを1回押したときはナビゲーションモードになり、2秒以上押したときはフォルダモードになります。

曜日と現在時刻を設定する

お好みにより、12 時間（am/pm）表示と 24 時間表示が選べます。（本書では 24 時間表示の設定方法で説明しています。）

1

TIMERボタンを（くり返し）押して、「Clock」を表示させる

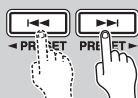
すでに時計が働いているときは、TIMERボタンを押すと、「Timer 1」と表示されるので、TIMER ボタンをくり返し押して「Clock」を表示させせます。

Clock

2

ENTERボタンを押す

曜日入力に入ります。

3

⏮/⏭ボタンを押して、今日の曜日を選ぶ

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
日	月	火	水	木	金	土

4

ENTERボタンを押して、曜日を確定する

THU 000

時間入力に入ります。

5

数字ボタンを押して、時刻を合わせる

数字ボタンで4桁（時、分）をつづけて入力してください。

24 時間表示

THU 1903

- am/pm表示のときは、>10ボタンでamとpmが切り換わります。
- 24時間表示のときは、>10ボタンを押すと12時間後の設定になります。
- ⏮/⏭ ボタンで時刻を合わせることもできます。

6

時報に合わせてENTERボタンを押す

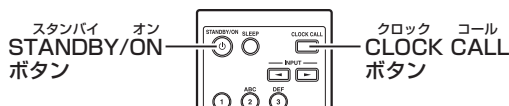
THU 1903

時計が始動し、秒点が点滅を始めます。

時刻合わせを中断するときは

MENU/NO/CLEAR ボタンを押します。

曜日、時刻を表示させる

リモコンのCLOCK CALLボタンを押します。
再度CLOCK CALLボタンを押すか、表示を切り換えると時刻表示は消えます。
スタンバイ時は、約8秒間時刻を表示した後、消灯します。

12時間表示/24時間表示を切り換えるには

時刻表示中にDISPLAYボタンを押します。

STANDBY時の時刻表示あり/なしを切り換えるには

電源が入っているときに、本体のSTANDBY/ONボタンを2秒以上押します。

ご注意

時刻表示を「あり」にすると「なし」のときより待機電力が増えます。

タイマー機能を使う

Sleep（スリープ）タイマー、Once（ワンス）タイマー、Every（エブリィ）タイマーがあります。

タイマー予約について

タイマー番号の選択

タイマーは4つまで設定することができます。

タイマーの種類

タイマー Play（プレイ）（再生）：設定した時間になると選択した機器が再生を始めます。

タイマー Rec（レック）（録音）：設定した時間になると選択した機器の録音を始めます。

- タイマー Recは本機に接続したRI端子付きのMDレコーダーまたはオンキヨー製カセットテープデッキに録音します。表示名称を正しく設定してください。（☞24ページ）

再生機器の設定

タイマープレイ（再生）の場合は、本機のINPUT（インプット）ボタンで選択できるものを再生ソースとして選ぶことができます。

タイマーレック（録音）の場合は、録音先（MDやTAPE（テープ））とCD以外を録音ソースとして選ぶことができます。

いずれも、RI端子のあるオンキヨー製機器で、表示名称を正しく設定する必要があります。（☞24ページ）

曜日の設定

タイマーは1回だけ働く「Once（ワンス）タイマー」と毎週設定した曜日、時間に働く「Every（エブリィ）タイマー」があります。

また、Everyタイマーには「Everyday（エブリディ）（毎日）」、「毎週月曜から金曜」や「毎週の土曜と日曜」など、連続した曜日を自由に設定することができます。

例）

Timer（タイマー） 1　毎朝の目覚ましがわりに
タイマー Play（再生）―Every―Everyday（毎日）―7:00〜7:30

Timer（タイマー） 2　毎週のラジオ放送を録音
タイマーRec（録音）― Every ― Days（デイズ） Set（セット）―MON（マンデー）（月曜日）〜SAT（サタデー）（土曜日）―15:10〜15:30

Timer（タイマー） 3　今週の日曜だけラジオ放送を録音
タイマー Rec（録音）―Once―SUN（サンデー）（日曜日）―10:00〜12:00

ご注意

- TIMER（タイマー）ボタンを押すと現在使用中のタイマーは解除され、タイマーオフの時間になっても電源はスタンバイ状態になりません。
- 現在時刻が設定されていないと、タイマー予約はできません。必ず時刻を合わせてください。
- 本機に接続した機器のタイマーを予約するときは接続を確実に行ってください。接続が不完全ですとタイマー再生やタイマー録音はできません。
- タイマー Rec（録音）中は、MUTING（ミューティング）機能が働いて音声がごく小さくなります。タイマー Rec中に音声を聞くには、リモコンのMUTINGボタンを押してください。

タイマー表示について

タイマーが1つでも設定されていると、TIMER（タイマー）表示が点灯し、そのタイマー番号が点灯します。└┘ が点灯している番号にはタイマー Recが設定されています。

同じ曜日にタイマー予約の時間が重なった場合

- 開始時刻が早いタイマーが優先されます。

Timer（タイマー） 1　　9：00 － 10：00
Timer（タイマー） 2　　8：00 － 10：00
↑ 優先(タイマー開始時刻が早い方)

- 開始時刻が同じ場合はタイマー番号が小さい方が優先されます。

Timer（タイマー） 1　　12：00 － 13：00
↑ 優先(タイマー番号が小さい方)
Timer（タイマー） 2　　12：00 － 12：30

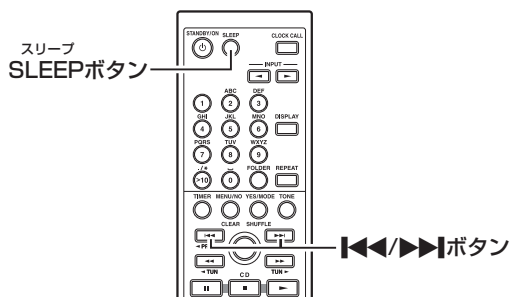
2つのタイマーのオフ時刻とオン時刻を同時刻に設定した場合、1つのタイマーが終了しても、もう1つのタイマーは動作しません。

Timer（タイマー） 1　　2：00 － 3：00
Timer（タイマー） 2　　3：00 － 10：00
↑ (動作しない)

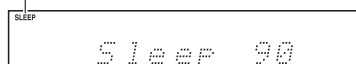
Sleep（スリープ）タイマーについて

設定した時間がくると自動的に本機をスタンバイ状態にします。

タイマー機能を使う

Sleep(スリープ)タイマーを使う

SLEEP(スリープ)ボタンを押す

SLEEP表示が点灯し、表示部には「Sleep 90」と表示され、90分後に電源がスタンバイ状態になります。
ボタンを押すごとに10分単位で時間が短くなります。

SLEEP表示点灯

1分単位で時間を設定したいときは、スリープタイマー時間が表示されている間に、⏮/⏭ボタンで設定します。
1～99分の範囲で設定することができます。設定した時間が約8秒間表示された後、元の表示に戻ります。

残り時間を確認するには

SLEEPボタンを押すと、電源がスタンバイ状態になるまでの残り時間が表示されます。ただし、残り時間が10分以下の表示のときに再びSLEEPボタンを押すとSLEEPタイマーは解除されます。

Sleepタイマーを解除するには

「Sleep(スリープ) Off(オフ)」の表示が出るまでSLEEPボタンを（くり返し）押します。

！ヒント

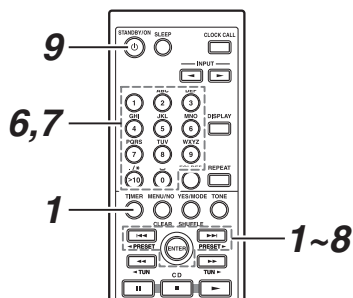
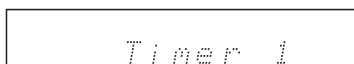
オンキヨー製カセットデッキやMDレコーダーとRI接続して「CDダビング」しているときにスリープタイマーの設定時間になった場合、「CDダビング」が完了してからスタンバイ状態になります。
この機能を利用して、寝る前や外出前にCDダビングを始めてもCDダビング完了時に電源をスタンバイ状態にすることができます。

タイマーを予約する

FM のタイマー予約をするには、あらかじめ放送局を登録しておいてください。(☞27、28 ページ)

ご注意

現在時刻が設定されていないと、タイマー予約はできません。
設定中60秒間何も操作しないと元の表示に戻ります。

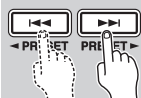
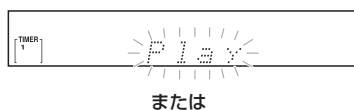
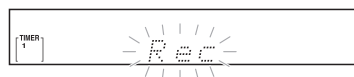
1

＜タイマー番号の選択＞

TIMERボタンを(くり返し)押して、設定するタイマーの番号を選ぶ

Timer 1からTimer 4のいずれかを選び、ENTERボタンを押します。

「Clock」しか表示されない場合は、曜日と時刻が設定されていませんので、曜日と時刻を設定してください。(☞45ページ)

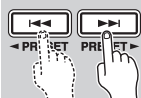
2

＜タイマー種類の選択＞

または

⏮/⏭ボタンを押して、タイマー Play(再生)またはタイマー Rec(録音)を選ぶ

タイマーの種類を選び、ENTERボタンを押します。
タイマー Recは本機に接続しているカセットテープデッキまたはMDレコーダーに録音されます。(☞17、18ページ参照)表示名称も正しく設定しておいてください。(☞24ページ)

録音中は、MUTING機能が働きます。

3

＜再生機器の選択＞

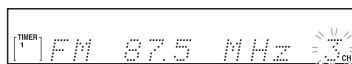
⏮/⏭ボタンを押して、再生する機器を選ぶ

再生する機器を選び、ENTERボタンを押します。
タイマー Rec(録音)の時はFM、DOCK、LINE 1、LINE 2、DIGITALの中から録音ソースを選べます。

FM を選んだ場合

⏮/⏭ボタンを押して、登録した希望のプリセットチャンネルを選ぶ

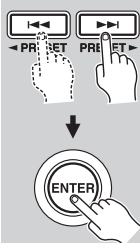
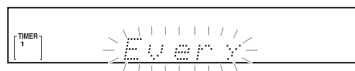
登録した希望のプリセットチャンネルが表示されたらENTERボタンを押します。

4

<録音機器の選択>（タイマー Rec設定時のみ）

録音する機器が表示されるので、確認してから ENTER ボタンを押す

MDまたはTAPEのどちらか接続している機器が表示されます。

- 表示名称が正しくないと、表示されません。

5

<曜日の設定>

|◀◀/▶▶|ボタンを押して、「Once」または「Every」を選ぶ

「Once」を選ぶと1度だけ、「Every」を選ぶと毎週タイマーが働きます。
選んだらENTERボタンを押します。

「Once」の場合：設定した曜日に１度だけ働きます。

|◀◀/▶▶|ボタンを押して、曜日を選ぶ

曜日を表示させたら ENTER ボタンを押します。
曜日の表示は下記の通りです。

MON	（月曜日）	FRI	（金曜日）
TUE	（火曜日）	SAT	（土曜日）
WED	（水曜日）	SUN	（日曜日）
THU	（木曜日）		

「Every」の場合：設定した曜日に毎週働きます。

|◀◀/▶▶|ボタンを押して、曜日を選ぶ

曜日を表示させたら ENTER ボタンを押します。

MON（月） ⇔ TUE（火） ⇔ WED（水） ⇔ THU（木） ⇔ FRI（金）
⇕ ⇕
SUN（日） ⇔ Days Set［曜日の範囲をお好みで設定します。］ ⇔ Everyday ⇔ SAT（土）

「Days Set」を選んだ場合：連続した曜日の範囲をお好みで設定します。

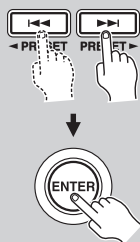
① **|◀◀/▶▶|ボタンを押して、最初の曜日を選ぶ**

曜日を表示させたら ENTER ボタンを押します。

② **|◀◀/▶▶|ボタンを押して、最後の曜日を選ぶ**

曜日を表示させたら ENTER ボタンを押します。

この場合、毎週火曜から日曜の設定した時間にタイマーが働きます。
設定できるのは連続した曜日です。月曜日と水曜日など、連続していない曜日を設定することはできません。

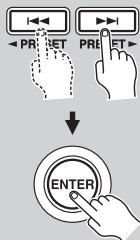
6

＜開始時刻の設定＞

◀◀/▶▶ボタンを押して、タイマー開始時刻を設定する

時刻を表示させたらENTERボタンを押します。
リモコンの数字ボタンでも設定できます。
7：29を設定するには、7、2、9と押します。
● am/pm表示のときは、>10ボタンでamとpmが切り換わります。

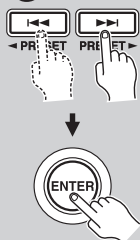
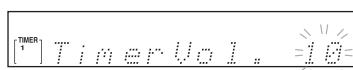
！ヒント

開始時刻（On）を設定すると終了時刻（Off）は自動的に1時間後の表示になります。

7

＜終了時刻の設定＞

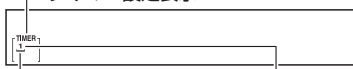
◀◀/▶▶ボタンを押して、タイマー終了時刻を設定する

時刻を表示させたらENTERボタンを押します。

8

＜音量の設定＞（タイマー Play設定時のみ）

◀◀/▶▶ボタンを押して、音量を設定する

お買い上げ時の設定は10です。音量を表示させたらENTERボタンを押します。

通常使用している音量と同じ音量で再生したいときは
◀◀ボタンを押して「Timer Vol. off」にしてください。スタンバイする前と同じ音量で再生できます。

9

タイマー表示が点滅から点灯に変わる

＜スタンバイ状態にする＞

電源をスタンバイ状態にする

STANDBY/ONボタンを押して本機の電源をスタンバイ状態にします。

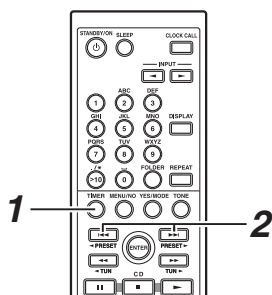
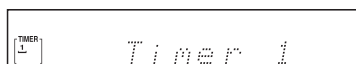
ご注意

- CDのタイマー再生で、メモリー、ランダム、1 FOLDERモードなどを設定しても、タイマーオン時には通常再生になります。
- 電源がスタンバイ状態以外の時には、タイマーの予約時刻になってもタイマー動作しません。タイマー動作させる時には、必ず電源をスタンバイ状態にしておいてください。
- タイマー動作中にスリープタイマーの設定をしたり、TIMERボタンを押すと動作中のタイマーは解除されます。
- タイマー Rec（録音）中はMUTING機能が働いて音声がごく小さくなります。音声を聞くには、リモコンのMUTINGボタンを押してください。

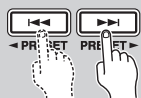
タイマー予約をやり直したいときは…TIMERボタンを押し､最初から設定してください。
タイマー予約を途中でやめるときは…MENU/NO/CLEARボタンを押してください。

タイマーのOn(実行)/Off(取消)を切り換える

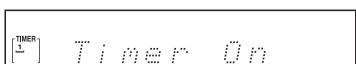
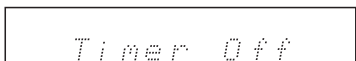
- 予約したタイマーの実行を取り消したいとき、タイマーを再び実行させたいときに使います。
- 現在時刻が設定されていないとタイマー予約はできません。

1

TIMERボタンを（くり返し）押して、設定するタイマー番号を表示させる

Timer 1

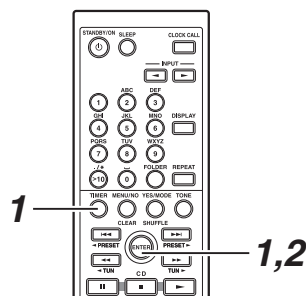
タイマー番号が点灯していたら､オン（実行）で設定されている状態です。

2

⏮/⏭ボタンを押して、On（実行）/Off（取消）を切り換える

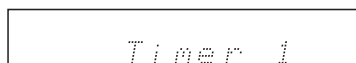
または

Timer Off

切り換えると数秒後に元の表示に戻ります。

タイマー設定の内容を確認するには

1

TIMERボタンを(くり返し)押して、確認したいタイマーの番号を表示させ、ENTERボタンを押す

Timer 1

2

ENTERボタンを（くり返し）押して、内容を確認する

押すたびに現在設定されている内容を順に確認できます。

！ヒント

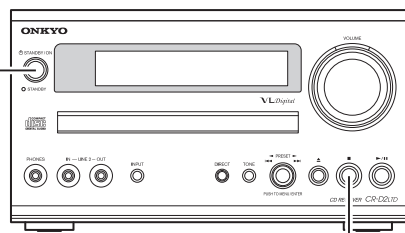
- 確認中⏮/⏭ボタンを押して､設定内容を変更することもできます。
- TIMER設定がOffになっている場合､設定内容を変更すると自動的にタイマー設定がOnになります。
- すべての項目を確認し､しばらくすると元の表示に戻ります。
- 確認を途中でやめるときは、MENU/NO/CLEARボタンを押します。

困ったときは

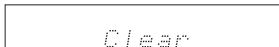
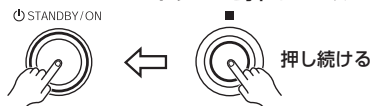
まず下表で点検してみてください。接続した他の機器に原因がある場合もあります。他の機器の取扱説明書も参照しながらあわせてご確認ください。

！ヒント 修理を依頼される前に

すべての内容をお買い上げ時の設定に戻すには

本機が動作しなくなったり、操作ができなくなったときは、本機のマイコンをリセットしてすべての内容をお買い上げ時の設定に戻すことで、トラブルが解消されることがあります。
修理を依頼される前に、下記の手順でマイコンをリセットしてみてください。

電源を入れた状態で■（ストップ）ボタンを押したまま、STANDBY/ON（スタンバイ オン）ボタンを押してください。

STANDBY/ON　■

押し続ける

Clear

表示部に「Clear（クリア）」と表示されたあと、スタンバイ状態に戻ります。

電源に関して

電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。
- 一度電源プラグをコンセントから抜き、10秒以上待ってから再度コンセントに差し込んでください。

電源が途中できれる

- 表示部にSLEEP表示がある場合は、スリープタイマーが働きます。解除してください。**（47ページ）**
- タイマー再生、録音**（48ページ）**は終了時刻になるとスタンバイ状態になります。
- STANDBYインジケーターが点滅しているときは、保護回路が働いています。スピーカーコードのしん線部のプラス⊕、マイナス⊖が接触していないか確認してください。

音に関して

音声が出ない

- 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？
- スピーカーが正しく接続されていますか？しん線は本体のスピーカー端子に確実に接続されていますか？**（14ページ）**
- ボリュームが最小になっていませんか?
- INPUTは正しく選択されているか確認してください。
- 「MUTING」と表示されている場合、ミューティング機能が働いていますので、リモコンのMUTINGボタンを押して解除してください。**（25ページ）**
- ヘッドホンを接続しているとスピーカーからの音は出ません。ヘッドホンをはずしてください。**（23ページ）**

音が良くない/雑音が入る

- スピーカーコードの⊕/⊖が正しく接続されているかご確認ください。左側に置くスピーカーが本体のL端子、右側のスピーカーはR端子に接続してください。**（14ページ）**
- ピンコードのプラグは奥まで差し込んでください。
- テレビなど強い磁気を帯びたものの影響をうけることがあります。テレビと本機を離してください。
- 携帯電話の通話中など本機の近くに強い電波を発生させる機器があると、ノイズが発生する場合があります。
- 本機は回転機器ですので、静かな環境では再生中や選曲中にCDのディスクを読み取る音が聞こえる場合があります。

LINE 2 IN端子に接続した機器の音声が出ない、LINE 2 OUT端子に接続した機器へ音が出ない

- LINE 2 IN/OUT端子を逆に接続していませんか？**（21ページ）**
- PHONES端子に間違って接続していませんか？
- 接続している機器の音量が小さくなっていませんか？

振動で音が途切れる

- 本機は据え置きタイプで設計されておりますので、できるだけ振動の少ない場所に設置してご使用ください。

ヘッドホンから音が出ない/ノイズが出る

- 接触不良の場合があります。ヘッドホンの端子を清掃してください。（清掃方法については、ヘッドホンに付属の取扱説明書をご確認ください。）また、ヘッドホンケーブルの断線の可能性もありますので、ご確認ください。
- となりのLINE 2 IN端子に誤って接続していませんか？

96kHzのデジタル入力に反応しない

- 対応するサンプリング周波数は、32kHz、44.1kHz、48kHzです。また対応するbit数は、16bit、20bit、24bitです。96kHz、192kHzには対応していません。

音質に関して

- 電源投入後10～30分程度経過した方が音質は安定します。
- オーディオ用ピンコードは電源コードやスピーカーコードと一緒に束ねると音質が低下しますのでご注意ください。

CD に関して

再生が始まるまでに時間がかかる

- 曲数の多いディスクの場合、読み込みに時間がかかることがあります。

音が飛ぶ

- 本機に振動が加わっている、またはディスクに大きな傷があったり汚れていると音とびすることがあります。

曲をメモリーすることができない

- ディスクが本機に入っていること、メモリーしようとしているのはディスクに入っている曲であることを確認してください。

ディスクが入らない

- 一度電源プラグを抜いて、もう一度入れてください。
- ディスクの置く位置を確認してください。
- 異なるディスクを使用してみてください。

ディスクが入っているのに再生しない

- ディスクの裏表が正しくセットされているか確認してください。
- ディスクがひどく汚れていたり損傷していないか確認してください。
- 何も録音されていないディスクが入っていませんか？録音されているディスクと取り換えてください。

- 結露していると思われる場合は約１時間後に操作してください。(35ページ)

ディスクの再生順序通りに再生できない

- リピート再生、メモリー再生、ランダム再生等の再生モードを解除してください。(41、42ページ)

複製制限機能(コピーコントロール機能)のついた音楽用CD の再生

再生時に雑音が入ったり、音飛びする/ディスクを認識せず「NO DISC」の表示が出る/1曲目を再生しない/頭出しに通常よりも時間がかかる/曲の途中から再生する/再生できない箇所がある/再生の途中で停止する/誤表示する

- 再生しているディスクは複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽用CDです。コピーコントロール機能のついた音楽用CDの中には、CD規格に合致していないものがあります。それらは、特殊ディスクのため、本機で再生できない場合があります。

FMに関して

放送に雑音が入る/FMステレオ放送の時、サーというノイズが多い/オートプリセットで放送局が呼び出せない「ST」表示が完全に点灯しない

- アンテナの接続をもう一度確認してください。(15ページ)
- アンテナの位置を変えてみてください。(26ページ)
- テレビやコンピューターから離してください。
- 近くに自動車が走っていたり飛行機が飛んでいると雑音が入ることがあります。
- 電波がコンクリートの壁等で遮断されていると放送が受信しにくくなります。
- FMモードをモノラルに変更してみてください。(29ページ)
- それでも電波が悪い時は市販の室内アンテナ、または屋外アンテナの設置をおすすめします。屋外アンテナの設置については、販売店にご相談ください。

停電になったり、電源プラグを抜いたときは

- メモリーは通常消えることはありません。万一、登録したラジオの放送局が消えてしまった場合は、再度登録を行ってください。
- 現在時刻は解除されるので、現在時刻、タイマーを設定してください。

ラジオの周波数を調整できない

- リモコンのみの操作になります。リモコンの◀◀/▶▶（◀TUN/TUN▶)ボタンを押して調整してください。(26ページ)

リモコンに関して

リモコンが働かない

- 電池の極性（⊕、⊖）が、表示通り正しく入っているか確認してください。(13ページ)
- 電池を2本とも新しいものと交換してみてください。（種類の異なる電池の使用や、新しい電池と古い電池混ぜて使用しないでください）
- リモコンと本体の間が離れすぎていませんか？
- リモコンと本体の間に障害物がありませんか？
- 本体のリモコン受光部に強い光（インバータ蛍光灯や直射日光）が当たっていませんか？
- オーディオラックのドアのガラスに色が付いていると、正常に動作しないことがあります。
- 部屋の蛍光灯が消耗してちらついていると本機が誤動作することがあります。蛍光灯を確認してください。

外部機器との接続に関して

接続している機器に録音ができない

- デジタル録音するには再生機器のデジタル出力を本機のDIGITAL IN端子に接続する必要があります。接続が正しいか確認してください。(18、19ページ)

オンキヨー製外部機器とのシステム動作が働かない

- RIケーブルとオーディオ用ピンコードの両方が正しく接続されているか確認してください。(17〜20ページ)RIケーブルの接続だけではシステムとして働きません。
- 外部入力機器の表示名称を設定してください。(24ページ)

接続した機器の音が出ない

- オーディオ用光デジタルケーブルが折れ曲がったり損傷していませんか?
- 本機はPCM信号にしか対応していないので接続している機器のデジタル出力をPCMに設定してください。

レコードプレーヤーの音が小さい

- レコードプレーヤーがフォノイコライザー内蔵か、お確かめください。
- 内蔵していないレコードプレーヤーの場合は別途フォノイコライザーが必要です。

レコードプレーヤーが再生できない

- MCカートリッジタイプのレコードプレーヤーをお使いの場合は、昇圧トランスまたはヘッドアンプが必要です。

時刻、タイマー再生・録音に関して

タイマー再生・録音しない

- 現在時刻は正しく設定されていますか？時刻が設定されていないと、タイマー再生、録音はできません。曜日と現在時刻を設定してください。(45ページ)
- 開始時刻に電源が入っているとタイマーが開始しません。タイマー開始時は本機の電源をスタンバイ状態にしてください。(50ページ 手順*9*)
- タイマー予約の時間が重なっていると働かないタイマーがあります。時間をずらして設定してください。(46ページ)
- タイマー再生は適切な音量に調節しておいてください。(50ページ 手順*8*)
- オンキヨー製外部機器の場合はRIケーブルとオーディオ用ピンコードの両方が正しく接続されているか確認してください。また、表示名称が正しく設定されているか確認してください。(17〜20、24ページ)
- MDにタイマー録音するには、録音可能なMDをRI接続したMDレコーダーにセットしておく必要があります。また、タイマー録音するとき、開始後数秒間は録音されない場合がありますので、録音開始時刻を1分程早めに設定してください。

スタンバイ状態で時計表示が出ない

- スタンバイ時の時刻表示を「あり」に設定してください。(45ページ)

製品の故障により正常に録音できなかったことによって生じた損害（CDレンタル料等）については保証対象になりませんので、大事な録音をするときにはあらかじめ正しく録音できることを確認の上、操作を行ってください。

本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音やノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。そのような時は、電源プラグを抜いて約10秒以上待ってから改めて電源プラグを差し直してください。それでも正常な動作に復帰しないときは、52ページの「すべての内容をお買い上げ時の設定に戻すには」を行ってください。

主な仕様

■総合

電源・電圧　AC 100V、50/60Hz
消費電力　80W
待機時電力　0.15W
最大外形寸法　205(幅)×117(高さ)×338(奥行)mm
質量　5.5kg
音声入力　デジタル　1（光）
　アナログ　LINE 1、LINE 2、
　DOCK（CDR）、MD（TAPE）
音声出力　デジタル　1（光）
　アナログ　DOCK（CDR）、MD（TAPE）
　LINE2
　サブウーファープリアウト　1
　スピーカー　2
　ヘッドホン　1

■アンプ部

定格出力　25＋25W（8Ω、40Hz～20kHz、
全高調波歪率0.5%以下、2ch駆動時）
40W＋40W（4Ω、1kHz、
全高調波歪率0.5%以下、2ch駆動時）
実用最大出力　60W＋60W（6Ω JEITA）
全高調波歪率　0.08 %（1kHz 1W出力時）
0.5 %（40Hz～20kHz 定格出力時）
ダンピングファクター　50（8Ω）
入力感度/インピーダンス　150mV/50kΩ（LINE 1）
出力電圧/インピーダンス　150mV/2.2kΩ（REC OUT）
周波数特性　10Hz～60kHz/＋1dB、−3dB(LINE 1)
トーンコントロール最大変化量
±6dB、80Hz（BASS）
±8dB、10kHz（TREBLE）
＋7dB、80Hz（S.BASS）
SN比　100dB（LINE 1, IHF-A）
スピーカー適応インピーダンス　4Ω～16Ω

仕様および外観は性能向上のため予告なく変更することがあります。

■チューナー部

＜FM＞
受信範囲　76.0MHz～90.0MHz
プリセットチャンネル数　40

■CD部

周波数特性　4Hz～20kHz
ダイナミックレンジ　96dB
全高調波歪率　0.005%
ワウ･フラッター　測定限界以下
（±0.001% W.PEAK）
音声出力電圧/インピーダンス
−22.5dBm（光デジタル出力）
1.3V（rms）/1kΩ（アナログ出力）

修理について

■保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口までお知らせください。

- ▶ お名前
- ▶ お電話番号
- ▶ ご住所
- ▶ 製品名 CR-D2LTD
- ▶ できるだけ詳しい故障状況

■オンキヨー修理窓口について

詳細は付属の「オンキヨーご相談窓口·修理窓口のご案内」をご覧ください。

■保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。